

令和3年度

岩手大学農学部年報

Vol.27

IWATE UNIVERSITY

2021

岩手大学農学部

農学部年報第 27 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 伊藤菊一

2022 年は農学部の前身である盛岡高等農林学校が 1902 年に勅令第 98 号により創設されてから 120 年の節目の年に当たります。本年報は創刊から今回で 27 回を数えることとなりますが、本号は学部創立 120 周年の年に刊行された記念すべきものです。

盛岡高等農林学校には創立の翌年の 1903 年に第一回生が入学しました。一方、その開校式は設立から数年遅れ、1905 年に執り行われました。開校式が延期された理由は、1902 年の大冷害と 1904 年に日露戦争が勃発したことによるものでした。1905 年 5 月 28 日の開校式には、第一回生から第三回生までが揃い、初代校長であった玉利喜造博士の訓示を聞きました。玉利校長の訓示はその全文が記録されております。訓示の中には、「本校は教職員一同、勉めて学生の養成にあたりと共、學術、及び、実業界において見るべき成績を挙げることを期待する」という部分があります。1 世紀以上も前の開校式における玉利校長の訓示は、現在の農学部が地域や社会から期待されている内容と相違ないものであります。

本年報が「地域の知の府」として地域と社会に貢献する現在の農学部の活動の記録として、多方面で活用されることを願っております。

令和 4 年 11 月

目 次

農学部年報第27号の刊行によせて

令和3年度の活動概要

1	トピックス	3
2	年間主要行事	5
3	広報等活動状況	7
教員・スタッフ		
1	学部教員	
	(1) 植物生命科学科	11
	(2) 応用生物化学科	12
	(3) 森林科学科	13
	(4) 食料生産環境学科	14
	(5) 動物科学科	16
	(6) 共同獣医学科	17
2	附属施設教員	
	(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	19
	(2) 附属動物病院	19
	(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター	19
3	技術部	21
4	学会等の開催	27
5	研究助成	28
6	非常勤講師	30
7	委員会一覧	36
学 生		
1	入試	
	(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等	41
	(2) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点	41
	(3) 入学者選抜状況	42
	(4) 学校推薦型選抜入学選抜状況	43
	(5) 植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況	43
	(6) 大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況	43
	(7) 大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況	45
2	カリキュラム	
	(1) 植物生命科学科	46
	(2) 応用生物化学科	47
	(3) 森林科学科	48
	(4) 食料生産環境学科	49
	(5) 動物科学科	52
	(6) 共同獣医学科	53

3	学部学生	
	(1) 入学年度別在籍者数	54
	(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況	54
	(3) 卒業者数	55
	(4) 卒業者の進路状況	55
4	大学院修士課程	
	(1) 在籍者数	56
	(2) 修了者数	56
	(3) 修了者の進路状況	57
	(4) 修士論文一覧	58
5	大学院博士課程	
	(1) 岩手大学大学院獣医学研究科	60
	(2) 岩手大学大学院連合農学研究科	60
	(3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科	63
	国際交流	
1	海外渡航	67
2	外国人研究者の受入	67
3	留学生の受入	67
4	交換留学生の派遣と受入	67
	地域交流	
1	セミナー・公開講座等の開催	71
	(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの	71
	(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの	76
	(3) 公開講座等	77
2	その他の地域連携事業	80
	(1) いわてアグリフロンティアスクール	80
	(2) AFR（岩手農林研究協議会）	82
3	受託研究員の受入	82
	附属施設	
1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	85
	1-1 地域フィールド総合科学分野	
	(1) 概要，教育研究の内容	
	(2) 地域貢献	
	1-2 持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 実習等	
	(4) 土地利用計画	
	(5) 家畜	
	(6) 農畜産物売払高	
	1-3 循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 御明神演習林	
	(4) 滝沢演習林	
	(5) 林産物の販売	

2	附属動物病院	91
	(1) 概要	
	(2) 診療状況	
	(3) 臨床教育の内容	
3	附属植物園	94
	(1) 概要	
	(2) 主な構成	
	(3) 園内概況	
	(4) 植物園・ガラス温室利用状況	
4	附属農業教育資料館	99
	(1) 概要	
	(2) 展示資料	
	(3) 入館者数	
	(4) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
5	附属動物医学食品安全教育研究センター	101
	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
事務組織等		
1	事務組織	105
2	令和3年度予算関係	105
3	職員の動向	106
	(1) 教育職員	
	(2) 事務職員	
	(3) 技術職員	

令和3年度の活動概要

1. トピックス

【大学院獣医学研究科共同獣医学専攻（博士課程）初めての修了生を輩出】

平成30年4月に設置された大学院獣医学研究科共同獣医学専攻（博士課程）から、令和3年度に初めての修了生5名を輩出した。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応】

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事等の中止や縮小が多くあった。

入学式は開催されなかったが、4月15日から対面での授業が開始された。5月17日～28日に対面授業が禁止された期間があったものの、その後は感染対策をしながら対面での授業が行われた。

8月のオープンキャンパスは、前年度と同様にWEB開催となったが、農学部では事前予約制の「WEBなんでも相談室」を開催し、個別に高校生からの質問に答えた。

大学院修了式・卒業式は、修了生・卒業生及び大学関係者のみに出席者を限定し、岩手県民会館で開催されたが、大学院修了式は中ホールから大ホールへ会場を変更し、卒業式は2部入替制での開催となった。

【国際交流】

(1) アメリカオーバン大学との学術交流

平成10年に締結された「学術交流に関する協定書」に基づき、学術交流の一環として平成16年から学生交流が行われている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の派遣は中止とした。

(2) カナダサスカチュワン大学との学術交流

平成25年3月1日から10年間で締結された岩手大学とカナダサスカチュワン大学との大学間学術交流協定に基づき、岩手大学農学部とカナダサスカチュワン大学言語センターとの学生派遣に関する合意を平成26年2月20日から締結し、学生の派遣を開始した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の派遣は中止とした。

(3) ドイツロッテンブルク大学との学術交流

平成25年11月6日から10年間で締結された岩手大学農学部とドイツロッテンブルク大学との学術交流協定に基づき、学生の派遣を行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の派遣は中止とした。

(4) 吉林農業大学との学術交流協定の更新

令和3年9月14日に岩手大学と吉林農業大学との学術交流協定が更新された。例年、数名の教員が吉林農業大学を訪問し、研究交流を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、教員の研究交流は中止とした。

(5) 上海海洋大学と学術交流

令和3年度は、11月27～28日に南アジア水産科学技術者会議（EAFTA）及びNPO法人国際食育交流協会（FSMILE）主催、海南熱帯海洋学院、岩手大学及び上海海洋大学共催のオンライン国際会議「International symposium on utilization of marine resources and construction of food system with high quality and low carbon」を行った。また、10月22日上海海洋大学が主催した第6回食品と健康国際シンポジウムに参加した。

(6) 福建農林大学と学術交流

令和元年7月8日に岩手大学と福建農林大学との学術交流協定が締結された。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、教員の派遣は行わなかった。

(7) 石河子大学との学術交流

令和元年8月20日に岩手大学と石河子大学との学術交流協定が更新された。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、交流は中止とした。

(8) エチオピア農業研究所との学術交流協定の締結

令和3年10月8日に岩手大学農学部とエチオピア農業研究所との学術交流協定が締結された。令和3年度

は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、実質的な交流ができなかったものの、共同研究のための準備を行った。

【研究助成】

- (1) 共同研究
令和3年度における民間等との共同研究は44件行われ、岩手県内の企業等から12件であった。
- (2) 受託研究
令和3年度には19件行われ、独立行政法人の研究機関から8件であった。

【学部長及び附属施設長の交代等】

- (1) 学部長の就任
前任者の任期満了に伴い、伊藤菊一教授が令和3年4月1日付けで就任した。
- (2) 副学部長の就任
前任者の任期満了に伴い、村上賢二教授が令和3年4月1日付けで就任した。
- (3) 附属動物病院長の再任
山崎真大教授が任期満了に伴い、令和3年4月1日付けで再任された。
- (4) 附属動物医学食品安全教育研究センター長の再任
寺嶋淳教授が任期満了に伴い、令和3年4月1日付けで再任された。
- (5) 附属農業教育資料館長の就任
前任者の辞任に伴い、松原和衛教授が令和3年4月1日付けで就任した。
- (6) 附属植物園長の就任
前任者の任期満了に伴い、真坂一彦教授が令和3年4月1日付けで就任した。

【その他】

- (1) 農学部附属農業教育資料館特別公開及び土日祝日の公開
令和3年11月3日（水、祝日）の文化の日を記念して、農業教育資料館の特別公開（無料開館）が行われ、期間中多くの入館者が訪れた。また、令和3年4月24日（土）から令和3年11月3日（水）（臨時閉館期間及び全学一斉休業期間を除く。）まで、土日祝日も一般公開を行った。
- (2) 授業公開と教育懇談会の開催
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、開催見送りとした。
- (3) 進路懇談会の開催
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、開催見送りとした。

2. 年間主要行事

年月日	曜日	事 項
令和3年		
4. 8	木	新入生オリエンテーション
6. 1	火	開学記念日
6.25	金	令和4年度岩手大学農学部（森林科学科，共同獣医学科を除く4学科）編入学試験
7. 1	木	令和4年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻推薦入学試験
7. 3	土	公開講座「農学部5学科（植物生命科学科，応用生物化学科，森林科学科，食料生産環境学科，動物科学科）の実験講座」
7.29	木	公開講座「大学農場で体験する食と農と生物学」（滝沢農場）
8. 2	月	Web オープンキャンパスサイト公開（令和4年2月28日まで）
8. 5	木	夏季休業（9月30日まで）
8. 6	金	WEB なんでも相談室（高校生及びその保護者対象）
8.18	水	令和3年10月入学・令和4年4月入学第1期岩手大学大学院総合科学研究科入学試験（19日まで）
8.20	金	令和3年10月入学・令和4年4月入学第1期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
9. 2	木	令和3年10月入学・令和4年4月入学第1期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
9.17	金	令和3年9月岐阜大学大学院連合獣医学研究科学学位記授与式
9.21	火	獣医学研究科動物介在療法シンポジウム
9.24	金	令和3年9月岩手大学卒業・修了式，連合農学研究科学学位記伝達式
10. 1	金	令和3年10月入学式
10.22	金	連合農学研究科設立30周年記念シンポジウム
10.23	土	公開講座「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」（滝沢演習林）
11. 7	土	公開講座「フィールドセミナー - ウォッチングビンゴをしながら親子で楽しむ秋の森 -」（滝沢演習林）
11.19	金	令和4年度岩手大学学校推薦型選抜（共同獣医学科を除く5学科）
12.11	土	公開講座「獣医さんのお仕事」
12.24	金	冬季休業（1月4日まで）
12.27	月	令和4年度岩手大学農学部総合型選抜
令和4年		
1.15	土	大学入学共通テスト（16日まで）
1.25	火	令和4年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科第2期入学試験（26日まで）
1.27	木	令和4年4月入学第2期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
2. 3	木	令和4年4月入学第2期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
2.21	月	附属動物医学食品安全教育研究センター成果発表会
2.25	金	令和4年度岩手大学一般選抜（前期日程）
3.12	土	令和4年度岩手大学一般選抜（後期日程）
3.14	月	令和3年度岐阜大学大学院連合獣医学研究科学学位記授与式
3.23	水	令和3年度岩手大学学位記授与式，連合農学研究科学学位記伝達式
3.24	木	春季休業（31日まで）

年月日	曜日	事項
3.24	木	いわてアグリフロンティアスクール修了式
3.27	日	公開講座「フィールドセミナー - 春をむかえる森をみる-」(滝沢演習林)

3 . 広報等活動状況

日 程	種 別	高 校 名	対 応 者
6月30日	大学見学	岩手県立金ヶ崎高等学校	白旗 学
7月 7日	大学見学	八戸工業大学第二高等学校	原科 幸爾
8月 5日	大学見学	岩手県立千厩高等学校	山田 慎二
10月20日	大学見学	岩手県立遠野高等学校	折笠 貴寛
10月26日	大学見学	岩手県立種市高等学校	佐藤 洋
10月29日	大学見学	仙台城南高等学校	立石 貴浩
6月 1日	出前講義	岩手県立花巻北高等学校	松波 麻耶
6月30日	出前講義	青森県立三沢高等学校	澤井 健
7月 6日	出前講義	秋田県立角館高等学校	斎藤 靖史
9月 7日	出前講義	青森県立三本木高等学校	木村 賢一
9月16日	出前講義	青森県立弘前中央高等学校	下野 裕之
9月16日	出前講義	青森県立青森東高等学校	伊藤 芳明
9月28日	出前講義	岩手県立金ヶ崎高等学校	木村 賢一
10月 2日	出前講義	宮城県泉館山高等学校	下野 裕之・出口 善隆
10月14日	出前講義	盛岡中央高等学校	下野 裕之
10月21日	出前講義	岩手県立盛岡第四高等学校	殿崎 薫・折笠 貴寛・西向 めぐみ
10月21日	出前講義	岩手県立福岡高等学校	原科 幸爾
10月26日	出前講義	宮城県古川高等学校	鈴木 雄二
10月28日	出前講義	青森県立青森高等学校	立石 貴浩
10月29日	出前講義	市立札幌藻岩高等学校	小出 章二
11月18日	出前講義	栃木県立足利高等学校	殿崎 薫
12月24日	出前講義	岩手県立盛岡北高等学校	松嶋 卯月

Ⅱ 教員・スタッフ

1. 学部教員

(1) 植物生命科学科

■教授

上村松生 (Uemura, Matsuo)	1999年赴任	researchmap
小森貞男 (Komori, Sadao)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐原健 (Shara, Ken)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
下野裕之 (Shimono, Hiroyuki)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

磯貝雅道 (Isogai, Masamichi)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
河村幸男 (Kawamura, Yukio)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立澤文見 (Tatsuzawa, Fumi)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
畠山勝徳 (Hatakeyama, Katsunori)	2015年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
八重樫元 (Yaegashi, Hajime)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
ラーマン アビドゥール (RAHMAN Abidur)	2006年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■講師

安嬰 (An, Ying)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------------	---------	---

■助教

川原田泰之 (Kawaharada, Yasuyuki)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
殿崎薫 (Tonosaki, Kaoru)	2019年赴任	researchmap
松波麻耶 (Matsunami, Maya)	2017年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(2) 応用生物化学科

■教授

伊藤 菊一	(Ito, Kikukatsu)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木村 賢一	(Kimura, Ken-ichi)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
塚本 知玄	(Tsukamoto, Chigen)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
西山 賢一	(Nishijyama, Ken-ichi)	2010年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
三浦 靖	(Miura, Makoto)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮崎 雅雄	(Miyazaki, Masao)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山下 哲郎	(Yamashita, Tetsuro)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

伊藤 芳明	(Ito, Yoshiaki)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
斎藤 靖史	(Saitoh, Yasushi)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
鈴木 雄二	(Suzuki, Yuji)	2017年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立石 貴浩	(Tateisi, Takahiro)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田 美和	(Yamada, Miwa)	2011年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(3) 森林科学科

■教授

井良沢 道也	(Irasawa, Michiya)	2001 年赴任	researchmap
小藤田 久義	(Kofujita, Hisayoshi)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関野 登	(Sekino, Noboru)	1984 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立川 史郎	(Tatsukawa, Shiro)	1981 年赴任	researchmap
真坂 一彦	(Masaka, Kazuhiko)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

伊藤 幸男	(Ito, Sachio)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧
國崎 貴嗣	(Kunisaki, Takashi)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
齋藤 仁志	(Saito, Masashi)	2019 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山内 貴義	(Yamauchi, Kiyoshi)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■講師

東 淳樹	(Azuma, Atsuki)	2000 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松木 佐和子	(Matsuki, Sawako)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■助教

山崎 遥	(Yamazaki, Haruka)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
------	--------------------	----------	---

(4) 食料生産環境学科

① 農村地域デザイン学コース

■教授

飯田俊彰 (Iida, Toshiaki)	2020年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
金山素平 (Kanayama, Motohei)	2013年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
三宅諭 (Miyake, Satoshi)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

濱上邦彦 (Hamagami, Kunihiko)	2011年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
原科幸爾 (Harashina, Kouji)	2004年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
武藤由子 (Muto, Yoshiko)	2006年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山本清仁 (Yamamoto, Kiyohito)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

② 食産業システム学コース

■教授

小出章二 (Koide, Shoji)	1996年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------------------	---------	---

■准教授

折笠貴寛 (Orikasa, Takahiro)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木下幸雄 (Kinoshita, Yukio)	2005年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
庄野浩資 (Shono, Hiroshi)	1991年赴任	岩手大学研究者総覧
前田武己 (Maeda, Takeki)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松嶋卯月 (Matsushima, Uzuki)	2005年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

③ 水産システム学コース

■教授

平井俊朗 (Hirai, Toshiaki)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
後藤友明 (Goto, Tomoaki)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

石 村 学 志 (Ishimura, Gakushi) 2015 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

袁 春 紅 (YUAN, Chunhong) 2016 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助 教

塚 越 英 晴 (Tsukagoshi, Hideharu) 2016 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(5) 動物科学科

■教授

喜多一美 (Kita, Kazumi)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
澤井健 (Sawai, Ken)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
築城幹典 (Tsuiki, Mikinori)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
西向めぐみ (Nishimukai, Megumi)	2013 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松原和衛 (Matsubara, Kazuei)	1996 年赴任	researchmap

■准教授

小田伸一 (Oda, Shinichi)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
出口善隆 (Deguchi, Yoshitaka)	2002 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村元隆行 (Muramoto, Takayuki)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(6) 共同獣医学科

■教授

板垣匡 (Itagaki, Tadashi)	1988年赴任	researchmap
宇塚雄次 (Uzuka, Yuji)	2009年赴任	researchmap
岡田啓司 (Okada, Keiji)	1991年赴任	researchmap
落合謙爾 (Ochiai, Kenji)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木崎景一郎 (Kizaki, Keiichiro)	2004年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐藤洋 (Satoh, Hiroshi)	2015年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高橋透 (Takahashi, Toru)	2013年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
寺嶋淳 (Terajima, Jun)	2017年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
古市達哉 (Furuichi, Tatsuya)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村上賢二 (Murakami, Kenji)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山崎真大 (Yamasaki, Masahiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山本欣郎 (Yamamoto, Yoshio)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

一條俊浩 (Ichijo, Toshihiro)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧
大沼俊名 (Ishiguro-Oonuma, Toshina)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高橋正弘 (Takahashi, Masahiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
中牟田信明 (Nakamuta, Nobuaki)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮崎珠子 (Miyazaki, Tamako)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田慎二 (Yamada, Shinji)	2019年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田美鈴 (Yamada, Misuzu)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧

■助教

内田直宏 (Utida, Naohiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧
金澤朋美 (Kanazawa, Tomomi)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

小林 沙織 (Kobayashi, Saori)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐々木 淳 (Sasaki, Jun)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関 まどか (Ichikawa-Seki, Madoka)	2013 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
中 田 浩 平 (Nakata, Kohei)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧
前 原 都有子 (Maehara, Toko)	2022 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 崎 朗 子 (Yamazaki, Akiko)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

2. 附属施設教員

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

■教授

山本 信次 (Yamamoto, Shinji) 1997年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

由比 進 (Yui, Susumu) 2016年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■准教授

平田 統一 (Hirata, Toh-ichi) 1992年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助教

白旗 学 (Shirahata, Manabu) 1991年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

渡邊 学 (Watanabe, Manabu) 2003年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

高田 乃倫予 (Takada, Noriyo) 2022年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(2) 附属動物病院

■教授

片山 泰章 (Katayama, Masaaki) 2005年赴任 [岩手大学研究者総覧](#)

■准教授

星野 有希 (Hoshino, Yuki) 2017年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助教

森田 智也 (Morita, Tomoya) 2020年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

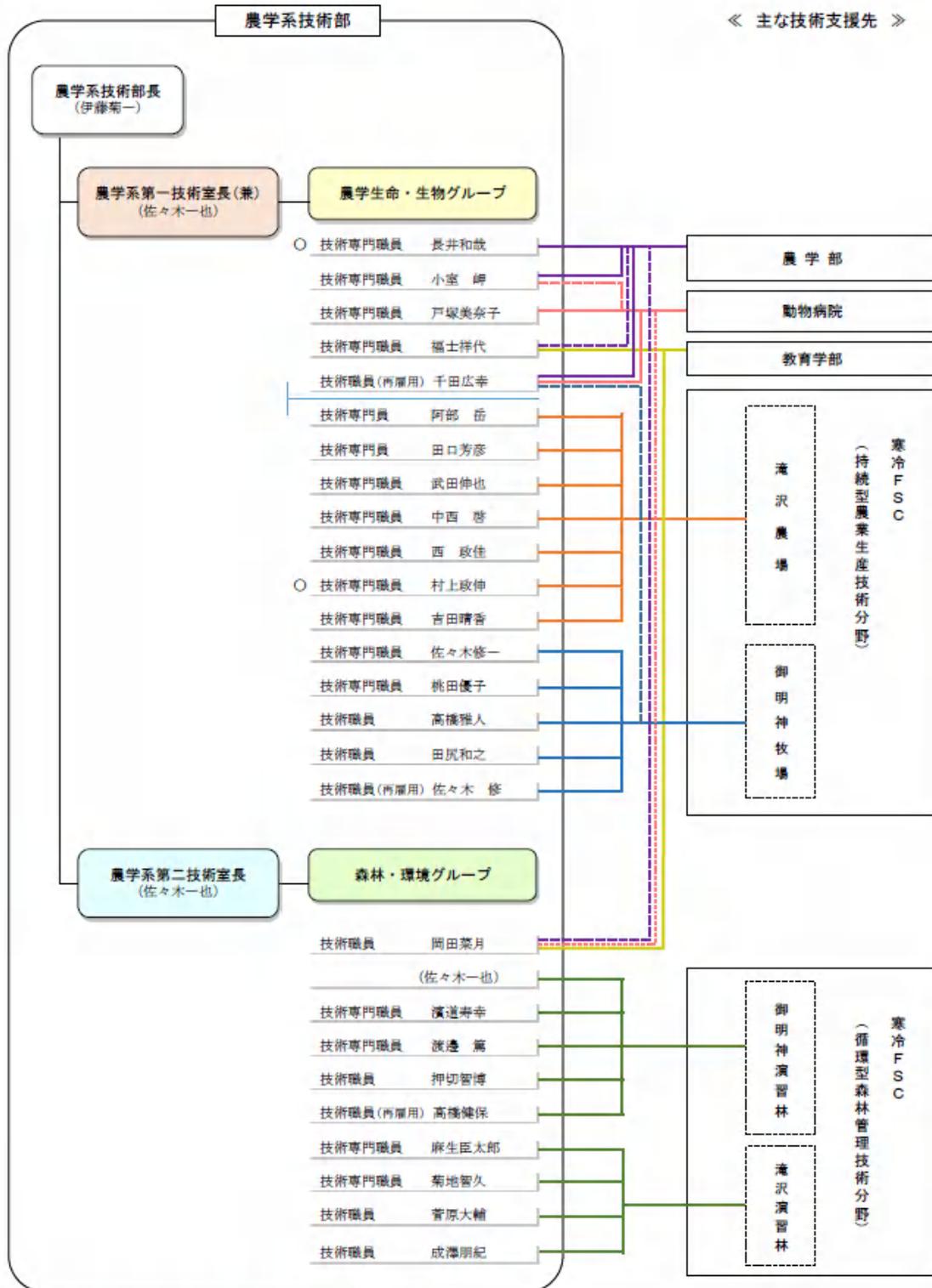
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

■教授

佐藤 至 (Sato, Itaru) 1990年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

3 技 術 部

農学系技術部と主な技術支援先(R3年度)



※ 記載は、グループ別主な技術支援先別職位別五十音順。○はグループリーダー。

氏名	赴任・職位	専門分野	学位 / 資格・免許等
【農学系第一技術室】			
長井和哉 Nagai, Kazuya	2006年 技術専門職員	分子生物学 分子生態学	博士（農学）（岩手大学） 第一種衛生管理者
小室岬 Komuro, Misaki	2010年 技術専門職員	花卉園芸学	修士（農学）（山形大学）/ 第一種衛生管理者，毒物劇物取扱者 （一般）
戸塚美奈子 Tozuka, Minako	2007年 技術専門職員	臨床検査学	臨床検査技師，普通第一種圧力容器 取扱作業主任者技能講習修了
福土祥代 Fukushi, Sachiyo	2013年 技術専門職員	蔬菜・花卉 機器分析	修士（農学）（岩手大学）/ 第一種衛生管理者，毒劇物取扱者 （一般），フォークリフト
阿部岳 Abe, Takeshi	1980年 技術専門員	作物栽培学	ボイラー技士（二級），大型特殊自 動車農耕車），ガス溶接技能講習修 了，危険物乙種二，三，四，六類
田口芳彦 Taguti, Yoshihiko	1992年 技術専門員	作物栽培学	大型自動車，大型特殊自動車，フ ォークリフト，けん引，ボイラー 技士（二級），危険物乙種四類
武田伸也 Takeda, Sinya	1993年 技術専門職員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），日本農業技 術検定2級，フォークリフト
中西啓 Nakanisi, Akira	1992年 技術専門職員	花卉園芸学， 蔬菜園芸学	毒物劇物取扱者（農業用品目）， 大型特殊自動車，第二種衛生管理 者，日本農業技術検定2級，フォ ークリフト
西政佳 Nishi, Masayoshi	1992年 技術専門職員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），けん引（農耕 車），フォークリフト，乾燥設備作 業主任者技能講習，刈払機取扱作業 者安全衛生教育終了
村上政伸 Murakami, masanobu	1997年 技術専門職員	果樹園芸学	大型自動車，大型特殊自動車，フォ ークリフト
吉田晴香 Yoshida, Haruka	2008年 技術専門職員	果樹園芸学	修士（農学）（岩手大学）/ 第一種衛生管理者，日本農業技術検 定2級，フォークリフト
佐々木修一 Sasaki, Shu-ichi	1991年赴任 技術専門職員	飼養，繁殖	大型特殊自動車免許（農耕車），けん 引免許（農耕車），毒物劇物取扱 者（農業用品目），家畜人工授精師

			(牛), 家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了
桃田 優子 Momota, Yuko	2007年 技術専門職員	飼養, 繁殖	修士(農学)(千葉大学) / 家畜人工授精師(牛), 大型特殊自動車
田尻 和之 Tajiri, Kazuyuki	2017年 技術職員	飼養・繁殖	中型自動車免許一種, 大型特殊自動車免許一種, 家畜人工授精師(牛), 二級削蹄師, 車輛系建設機械(整地・運搬・積込み用及び採掘用)
高橋 雅人 Takahashi, Masahito	2020年 技術職員	飼料作, 機械	中型自動車免許, 大型特殊自動車免許, ガス溶接技能講習, 玉掛け技能講習
【農学系第二技術室】			
岡田 菜月 Okada, Natsuki	2012年 技術職員	木工, 森林生態学, 森林環境教育学	修士(農学)(岩手大学) / 第一種衛生管理者, 2級ビオトープ計画管理士, 森林インストラクター
佐々木 一也 Sasaki, Kazuya	2004年 技術室長	林政学, 森林管理学	博士(農学)(岩手大学) / 測量士補, 森林情報士(森林GIS 2級), 第一種衛生管理者
濱道 寿幸 Hamamichi, Toshiyuki	1999年 技術専門職員	森林生態学, 林業機械	第一種衛生管理者, はい作業主任者, 地山掘削作業主任者, ツリークライミングファシリテーター, 狩猟免許(銃、罟)
渡邊 篤 Watanabe, Atsushi	2009年 技術専門職員	林業生産工学	第一種衛生管理者, 修習技術者, 測量士, 森林インストラクター, 中型自動車免許
押切 智博 Oshikiri, Tomohiro	2021年 技術職員	野生動物管理学	準中型自動車免許(5t限定), 修習技術者, 測量士補, 狩猟免許(わな猟), 学芸員
麻生 臣太郎 Aso, Shintaro	2008年 技術専門職員	林業生産工学	修士(農学)(岩手大学) / 大型特殊自動車免許, 第一種衛生管理者, 危険物取扱者(乙種), 測量士, 修習技術者
菊地 智久 Kikuchi, Tomohisa	1997年 技術専門職員	森林管理学, 樹木学, 樹木医学, 森林環境教育学	樹木医, 森林インストラクター, 第一種衛生管理者
菅原 大輔	2012年	森林管理学	修習技術者, 測量士補, 車両系建設

Sugawara, Daisuke	技術職員		機械（自重3t以上）、はい作業主任者、危険物取扱者（乙種）
成澤朋紀	2021年	森林リモートセンシング, 森林GIS	修士（農学）（東北大学） / 森林インストラクター、危険物取扱者（乙種、第4類）、車両系建設機械運転技能講習、不整地運搬車運転技能講習、玉掛け技能講習
Narisawa, Tomoki	技術職員		

4 . 学会等の開催

植物生命科学科

- ・名 称：日本作物学会東北支部会第 64 回講演会
- ・年 月 日：令和 3 年 7 月 3 日（土）
- ・場 所：岩手大学農学部
- ・参加人数：45 名
- ・その他：開催担当者 下野裕之（岩手大学教授）・松波麻耶（岩手大学助教）

応用生物化学科

- ・名 称：デザイン生命工学研究会・第 7 回大会
- ・年 月 日：令和 4 年 3 月 10 日（木）
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加人数：約 100 名
- ・大会 長：西山賢一（岩手大学教授）

森林科学科

- ・名 称：第 133 回日本森林学会大会
- ・年 月 日：令和 4 年 3 月 27 日（日）～29 日（火）
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加人数：1,158 名（研究発表 727 件）
- ・世話 人：立川史郎（岩手大学教授），真坂一彦（岩手大学教授），松木佐和子（岩手大学講師），伊藤幸男（岩手大学准教授），山本信次（岩手大学教授），高田乃倫与（岩手大学助教），滝沢裕子（岩手大学特任助教），齋藤仁志（岩手大学准教授），白旗学（岩手大助教），國崎貴嗣（岩手大学准教授），山崎遥（岩手大学助教）

動物科学科

- ・名 称：システム農学会 2021 年度大会
- ・年 月 日：令和 3 年 6 月 18 日（金）～19 日（土）
- ・場 所：岩手大学（オンライン開催）
- ・参加人数：60 名
- ・大会実行委員長：築城幹典（岩手大学教授）

- ・名 称：2022 年度日本草地学会岩手大会
- ・年 月 日：令和 4 年 3 月 25 日～27 日
- ・場 所：岩手大学（オンライン開催）
- ・参加人数：195 名
- ・大会実行委員長：築城幹典（岩手大学教授）
- ・大会事務局長：藤森雅博（農研機構 東北農業研究センター）
- ・大会実行委員：東山雅一，嶺野英子，池田堅太郎，森田聡一郎・出口 新，久保田明人，藤竿和彦（農研機構 東北農業研究センター）

5 . 研究助成

令和3年度科学研究費補助金採択状況一覧

(単位:千円, 職位は令和3年4月1日もしくは採用時現在)

研究種目	所属	研究代表者名	職位	研究課題名	配分額
新学術領域研究 (研究領域提案型)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	准教授	ネコのマタタビ反応で機能する嗅覚受容体と多幸感に関わる神経回路の同定	1,900,000
基盤研究(A)	植物生命科学科	下野 裕之	准教授	イネの野外ビッグデータを用いた「人工知能」による育種プラットフォームの開発	8,200,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	伊藤 菊一	教授	発熱植物がゼンノウの体温調節に関わる温度センシングモジュールの探索と同定	2,500,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	RAHMAN ABIDUR	准教授	低温ストレス応答の分子メカニズムを基盤とした低温耐性トマトの開発	4,400,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	鈴木 雄二	准教授	炭酸固定からトリオースリン酸生成の増強による光合成と個体育育の窒素利用効率の改良	8,300,000
基盤研究(B)	共同獣医学科	落合 謙爾	教授	神経病原性レトロウイルスがグリオーマを誘発する新しい分子機構の解明	6,100,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	山田 美和	准教授	産業廃棄物を原料としたグリコール酸高比率コポリマー創製のための代謝工学戦略	3,500,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス 教育研究センター	山本 信次	教授	原発事故による放射性物質拡散が農山漁村の自然資源利用に与えた影響とその対応	600,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	川原田 泰之	助教	陸上植物が保有する EPR3 受容体の機能解析	800,000
基盤研究(C)	農学部	長澤 孝志	嘱託教授	シトルリンによるアミノ酸の骨格筋萎縮抑制作用の増強	700,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	立澤 文見	准教授	花色と花色素の体系化による新花色品種を効率よく育成する手法の開発	900,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	佐原 健	教授	トビケラ目昆虫における染色体進化の解明	700,000
基盤研究(C)	森林科学科	東 淳樹	講師	ミサゴの内陸部への生息拡大要因・健全な水辺生態系を目指して	700,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	原科 幸爾	准教授	二ホンリスの移動と遺伝的多様性からみた都市のエコロジカルネットワークの機能評価	800,000
基盤研究(C)	森林科学科	関野 登	教授	シイタケ廃菌床の半炭化処理による新しい木質系断熱材の開発	700,000
基盤研究(C)	森林科学科	小藤田 久義	教授	スギ材ジテルペン成分の抗アルツハイマー病活性とその作用機構	700,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	武藤 由子	准教授	嫌気・好気状態が混在する土中での微生物活動に着目した水分移動過程における窒素動態	700,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	立石 貴浩	准教授	森林の堆積層での適切な土壌微生物管理による放射性セシウムの隔離法の提案	300,000
基盤研究(C)	農学部	大塚 弥生	客員 准教授	犬バベシア症の血小板減少症における分子病態の解明	500,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	中牟田 信明	准教授	カメの性フェロモン受容システムに関する研究	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	高橋 透	教授	ウシ子宮に発現するクロモグラーニン A の生理的役割の解明と低受胎診断への適用	900,000
基盤研究(C)	動物病院	片山 泰章	准教授	閉塞性腎障害における腎保護性蛋白である L-FABP の前臨床研究	800,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	小森 貞男	教授	リングゲノム編集技術実用化のための培養技術の開発	1,100,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	塚越 英晴	助教	MIG-seq 法を用いた三陸岩手サケの河川遡上集団と沿岸海域集団の遺伝特性分析	1,200,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	松嶋 卯月	准教授	植物の根は高濃度塩水湛水栽培にどのように順化するのか?	800,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	前田 武己	准教授	バイオ炭の混合による家畜排せつ物堆肥化時の悪臭低減	600,000
基盤研究(C)	動物医学食品安全教育 研究センター	佐藤 至	教授	原発事故汚染困難区域で飼育されている牛の健康状態ならびに食肉の安全性に関する評価	500,000
基盤研究(C)	動物科学科	澤井 健	教授	ウンチ体外受精の発育不全・組織分化異常に関わる因子の解明とその発現制御	1,000,000
基盤研究(C)	農学部	板垣 匡	教授	ミツバチノゼマ病の新たな病原体 Nosema sp. の種と病原性、国内分布の解明	1,200,000
基盤研究(C)	動物科学科	西向 めぐみ	教授	慢性腎臓病における エーテル型リン脂質に着目した新規疾病マーカーの開発	1,100,000
基盤研究(C)	農学部	中牟田 祥子	特任 研究員	ハイギョ嗅覚器における 1 型鋤鼻受容体の発現解析	1,300,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	木村 賢一	教授	琥珀内に包された 9000 万年間の化学反応生成物と生物活性の統合的解析	1,300,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	伊藤 芳明	准教授	骨格筋の代謝機能および量的維持に対するイソチオシアネート化合物の作用機序解析	2,000,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	三浦 靖	教授	呈味性と咀嚼・嚥下容易性を制御するための 3 次元造形手法の確立	2,000,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	磯貝 雅道	准教授	植物ウイルスの種子伝染に対する植物の防御機構の解明	1,800,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	八重樫 元	准教授	チューリップモザイク病の分子機構と生物学的意義の解明	1,200,000
基盤研究(C)	森林科学科	齋藤 仁志	准教授	木材生産が可能な林分はどこにあるのか? 災害リスクを考慮した供給可能量の推定	1,300,000

研究種目	所 属	研 究 代表者名	職 位	研 究 課 題 名	配分額
基盤研究(C)	食料生産環境学科	小出 章二	教 授	生鮮青果物の新たな過冷却保存法の確立：長期品質保持・環境負荷低減を目指して	1,900,000
基盤研究(C)	動物科学科	出口 善隆	准教授	多雪地域におけるイノシシの土地選好性	1,500,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス 教育研究センター	平田 統一	准教授	アルギニン製剤の給与が定時胚移植後の受胎率に及ぼす影響	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山田 慎二	准教授	リキッドバイオプシー診断による地方病性牛白血病の発症予測技術の確立	900,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	古市 達哉	教 授	運動器疾患の克服に向けた糖ヌクレオチド代謝の基礎研究	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	木崎 景一郎	教 授	ウシ栄養膜細胞由来の環状RNAの同定と機能解析	800,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山本 欣郎	教 授	頸動脈小体の感覚性長期増強反応および低酸素適応反応におけるシナプス可塑性の役割	2,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	関 まどか	助 教	世界初となる単為生殖型肝蛭3倍体の分子学的識別法の開発	1,200,000
挑戦的研究(萌芽)	共同獣医学科	落合 謙爾	教 授	レトロウイルス性心筋異常の病態解析と動物モデル化の検討	1,200,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	鈴木 雄二	准教授	方法的限界の打破から挑む、かつてない多様な植物種からの優れた Rubisco の発掘	2,500,000
若手研究	共同獣医学科	山崎 朗子	助 教	ニホンジカ寄生住肉胞子虫の下痢毒性因子の検出および毒性機序の解明	700,000
若手研究	植物生命科学科	駒崎 薫	助 教	種間雑種胚乳で生じるエピゲノム異常の検証とその原因メカニズムの推定	1,400,000
若手研究	動物病院	森田 智也	助 教	超音波検査で犬の心腎連関を解明できるか：右心室機能と腎うっ血に注目した検討	800,000
若手研究	植物生命科学科	前原 都有子	助 教	プロスタグランジンによる敗血症の病態制御機構の解明および診断・治療への応用	
合 計					85,400,000

6. 非常勤講師

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
科生植 学科命物	吉川 信幸	生物制御学概論	岩手大学名誉教授	14
	金澤 俊成	蔬菜園芸学各論	岩手大学教育学部	24
応用 生物化学 学科	下飯 仁	産業微生物学	元岩手大学教授	28
	長澤 孝志	美味学	岩手大学名誉教授	14
	長澤 孝志	栄養化学	岩手大学名誉教授	14
	木村 毅	有機化学概論	岩手大学研究推進機構	28
	小野田 敏行	公衆衛生学	岩手大学保健管理センター	14
科森 学科	井倉 洋二	暖帯林概論	鹿児島大学農学部	28
	佐藤 康	森林科学基礎演習	小岩井農場	3
	山本 清龍	自然環境保全論	東京大学大学院農学生命科学研究科	28
食料生産環境 学科	赤木 徳顕	経営管理学入門	帝京大学経済学部	12
	稲垣 秀悦	経営管理学入門	いわぎん事業創造キャピタル株式会社	2
	鈴木 良太	経営管理学入門	チーム漁火	2
	垣添 直也	経営管理学入門	マリン・エコラベル・ジャパン協議会	2
	赤木 徳顕	起業学実習	帝京大学経済学部	21
	笠井 宗昭	水産物流・マーケティング論	知恵工房	2
	神谷 慎一	水産物流・マーケティング論	トース株式会社	2
	桜井 泰憲	漁業資源生態学	函館頭足類科学研究所	2
	横川 太一	漁業資源生態学	海洋研究開発機構	2
	桜井 泰憲	自然環境政策論	函館頭足類科学研究所	4
	阿部 拓三	自然環境政策論	南三陸町	8
	佐藤 繁	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	9
	中村 修	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	19
	山内 愛子	水産政策学	株式会社シーフードレガシー	4
	藤井 巖	水産政策学	海洋政策研究所	2
	森 晃也	コミュニケーション論	富士ゼロックス株式会社	2
	難波 信由	水産植物学	北里大学海洋生命科学部	28
	野村 一郎	環境経済学・資源経済学入門	インドネシア漁業省	4
	山口 勝洋	緑地環境学	紫波町グリーンエネルギー株式会社	2
	工藤 浩一	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	工藤 将英	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	久野 叔彦	農村地域デザイン実践論	株)三 コンサルタンツ	4
	登尾 浩助	農村地域デザイン実践論	明治大学農学部	8
金野 那奈美	農村地域デザイン実践論	岩手県北広域振興局土木部	4	
相川 次郎	海外農林開発論	国際協力機構	28	
溝口 勝	環境修復学	東京大学大学院農学生命科学研究科	12	

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	長坂 善禎	フィールドロボティクス及び農作業安全	農研機構 東北農業研究センター	2
	山下 善道	フィールドロボティクス及び農作業安全	農研機構 東北農業研究センター	2
	山本 聡史	フィールドロボティクス及び農作業安全	秋田県立大学生物資源科学部	2
	片平 光彦	フィールドロボティクス及び農作業安全	山形大学食料生命環境学科	2
	熊谷 悦史	フィールドロボティクス及び農作業安全	農研機構 東北農業研究センター	2
	菊池 豊	フィールドロボティクス及び農作業安全	農研機構 農業技術革新工学研究センター	14
	及川 一也	フィールドロボティクス及び農作業安全	株式会社クボタ アグリソリューション推進部	4
	小玉 智	食産業システム学実験	株式会社サセキ東北	8
	武田 純一	食産業システム学実験	岩手大学名誉教授	12
	武田 純一	食産業システム学実験	岩手大学名誉教授	12
	大島 肇	漁村計画学	RPI	28
	前多 隼人	水産食品加工学	弘前大学農学生命科学部	4
	渡部 終五	水産食品加工学	北里大学海洋生命科学部	4
	落合 芳博	水産食品加工学	東北大学大学院農学研究科	4
	神谷 慎一	水産食品加工学	トーアス株式会社	2
	高橋 剛一	水産物流通論	岩手県すし業生活衛生同業組合	2
	長谷川 琢也	地域マネジメント概論	株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング	8
	安達 日向子	地域マネジメント概論	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン	4
	木村 拓哉	地域マネジメント概論	一般社団法人東の食の会	4
	津田 祐樹	地域マネジメント概論	株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング	4
	松本 裕也	地域マネジメント概論	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン	4
	戸塚 絵梨子	地域振興経済・政策論	株式会社パソナ東北創生	2
	照井 富也	地域振興経済・政策論	岩手県	4
	廣野 一誠	地域振興経済・政策論	アサヤ株式会社	2
	及川 一也	農業情報処理	株式会社クボタ アグリソリューション推進部	4
	山下 善道	農業情報処理	農研機構 東北農業研究センター	2
	熊谷 悦史	農業情報処理	農研機構 東北農業研究センター	2
	吉田 龍平	農業情報処理	福島大学共生システム理工学類	2
	山本 聡史	農業情報処理	秋田県立大学生物資源科学部	2
	武田 純一	農業情報処理	岩手大学名誉教授	2
	武田 純一	農作業システム学	岩手大学名誉教授	28
	武田 純一	農業動力利用学	岩手大学名誉教授	28
	武田 純一	応用数学	岩手大学名誉教授	10
	任 恵峰	水産食品化学	東京海洋大学海洋資源環境学部	4
	田中 教幸	水産食品化学	元岩手大学教授	8
	于 克鋒	水産食品化学	岩手大学三陸水産研究センター	2
	今野 久仁彦	水産食品化学	北海道大学名誉教授	4

	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	颯田 尚哉	水資源論	大同大学情報学部	28
	颯田 尚哉	環境計測学	大同大学情報学部	28
	倉島 栄一	構造力学	岩手大学名誉教授	28
	倉島 栄一	構造力学演習	岩手大学名誉教授	28
	桶田 陽子	6次産業化論	農事組合法人 宮守川上流生産組合	2
	成影 沙紀	6次産業化論	株式会社ポケットマルシェ	6
	安江 紘幸	6次産業化論	農研機構 東北農業研究センター	2
	三田 林太郎	6次産業化論	三田農林株式会社	2
	広田 純一	農村生態工学	岩手大学名誉教授	28
	広田 純一	地域振興政策論	岩手大学名誉教授	28
	廣川 正英	農村地域デザイン学演習	東北農政局整備部	3
動物科学科	小松 守	動物園学	秋田市大森山動物園	14
	谷口 和美	動物形態学	北里大学獣医学部	28
	谷口 和美	動物形態学	北里大学獣医学部	28
	中村 哲雄	牧場実習	葛巻町畜産開発公社	17
	水谷 啓司	動物科学実験	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	3
	西 千秋	野生動物学	(合)岩手野生動物研究所	14
	平松 浩二	動物組織学	信州大学農学部	14
	藤田 知己	動物科学総論	株式会社陸奥駿舎	7
	佐野 宏明	家畜生産生理学	岩手大学名誉教授	28
	佐野 宏明	動物栄養学	岩手大学名誉教授	28
共同獣医学科	佐藤 れえ子	動物品種論	岩手大学名誉教授	4
	辻本 恒徳	動物品種論	盛岡市動物公園	4
	佐藤 繁	産業動物臨床学	岩手大学名誉教授	30
	稲葉 睦	血液免疫病学	北海道大学大学院獣医学研究科	4
	田高 恵	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	足立 眞也	総合参加型臨床実習	小岩井農牧株式会社	21
	藤田 茂	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	大澤 健司	臨床繁殖学実習	宮崎大学農学部	6
	菊地 和弘	臨床繁殖学実習	農研機構 生物機能利用研究部門	6
	岡村 雄司	臨床繁殖学実習	おかむらアニマルクリニック	6
	野口 倫子	臨床繁殖学実習	麻布大学	6
	大田 寛	消化器病学	酪農学園大学獣医学群	4
	渡邊 一弘	消化器病学	岐阜大学応用生物科学部	2
	笠嶋 快周	産業動物臨床学	JRA 競走馬総合研究所	2
	笠嶋 快周	馬臨床学	JRA 競走馬総合研究所	12
	高木 哲	臨床腫瘍学	麻布大学獣医学部	12
	木村 祐哉	人と動物関係学	北里大学獣医学部獣医学科	10
	辻本 恒徳	人と動物関係学	盛岡市動物公園	10
	松浦 晶央	人と動物関係学	北里大学獣医学部	8
	夏堀 雅宏	画像診断学	北里大学獣医学部	12
辻本 恒徳	野生動物学	盛岡市動物公園	15	
秦 英司	病原微生物学	農研機構 動物衛生研究部門	4	

	氏名	科目	勤務先	時間数
共同獣医学科	古濱 和久	薬理学実習	元岩手大学教授	21
	古濱 和久	毒性学実習	元岩手大学教授	9
	下川 哲哉	解剖学実習	愛媛大学大学院医学系研究科	6
	白岩 利恵子	食品衛生学実習	一般社団法人岩手県獣医師会 食鳥検査センター	3
	白岩 利恵子	公衆衛生学実習	一般社団法人岩手県獣医師会 食鳥検査センター	3
	渡辺 麻衣子	食品衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部	3
	渡辺 麻衣子	公衆衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部	6
	高橋 孝嗣	食品衛生学実習	岩手県食肉衛生検査所	3
	豊田 武士	動物病理学総論	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター	4
	福田 智一	獣医遺伝育種学	岩手大学理工学部	4
	安田 出	大動物臨床実習・基礎編	安田動物病院	3
	鈴木 一由	大動物臨床実習・応用編	酪農学園大学獣医学群	6
	山手 寛嗣	獣医倫理	松園動物病院	2
	伊丹 貴晴	麻酔学・手術学	酪農学園大学獣医学群	6
	伊丹 貴晴	小動物外科学実習・基礎編	酪農学園大学獣医学群	6
	大野 晃治	小動物内科学実習・応用編	男鹿水族館 GAO	3
	松原 ゆき	小動物内科学実習・応用編	盛岡市動物公園 ZOOMO	3
	学部専門教育科目	岩崎 昭子	地域おこし論	根浜 MIND
若生 和江		地域おこし論	惣菜弁当加工販売「やまんば工房」	2
岡本 翔馬		地域おこし論	NPO 法人桜ライン 311	2
黍原 豊		地域おこし論	三陸駒舎	2
高家 卓範		地域おこし論	森のそば屋	2
佐々木 富士夫		地域おこし論	いさわ南部農事組合法人	2
中村 一郎		地域おこし論	三陸鉄道株式会社	2
望月 達也		地域おこし論	早池峰の自然を考える会	2
若菜 千穂		地域おこし論	NPO 法人いわて地域づくり支援センター	2
平野 多佳子		地域おこし論	やはば百笑倶楽部	2
土澤 智		地域おこし論	岩手県ふるさと振興部	2
高橋 静		地域おこし論	はちすずめ菓子店	2
北爪 英一		基礎化学実験	岩手大学名誉教授	42
奈良 光紀		基礎数学入門	岩手大学理工学部	28
石垣 剛		基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
大柳 洸一		基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
花原 和之		微分積分学入門	岩手大学理工学部	28
尾臺 喜孝		線形代数学入門	岩手大学理工学部	28
小野田 敏行		農学のための倫理学	岩手大学保健管理センター	14
開 龍美		農学のための倫理学	岩手大学名誉教授	14
竹原 明秀		基礎生物学実験	岩手大学人文社会科学部	9
竹原 明秀		生物学入門	岩手大学人文社会科学部	6
柳澤 忠昭		地学入門	盛岡中央ゼミナール	8
厚井 高志		地学入門	北海道大学	8
越谷 信		地学入門	岩手大学理工学部	4
山本 英和		地学入門	岩手大学理工学部	4

	氏名	科目	勤務先	時間数
学部専門教育科目	花見 仁史	物理学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学	岩手大学理工学部	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語（食料）	フリーランス	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語（植物）	フリーランス	28
	宮崎 珠子	科学英語（応用）	日本学術振興会	56
	木村 毅	化学	岩手大学教育推進機構	28

大学院総合科学研究科 農学専攻

専攻	氏名	科目	勤務先	時間数
コト生植 ↑ ス学命物	阿部 陽	遺伝子農学特論	公益財団法人 岩手生物工学研究センター	28
	北柴 大泰	植物生命科学特別講義	東北大学大学院農学研究科	14
コト化生応 ↑ ス学物用	牧野 周	応用生物化学特別講義	東北大学大学院農学研究科	14
コト科動 ↑ ス学物	平山 博樹	動物科学特別講義	東京農業大学	14

大学院獣医学研究科

氏名	科目	勤務先	時間数
辻本 恒徳	動物と人の共存学	盛岡市動物公園 ZOOMO	6

客員教授・客員准教授

施設名	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
教動物 研医 学セ ン品 タ全 ↑ 全	福永 陽子 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物医学食 品安全教育研究センターの健康 な家畜の生産と食の安全・安心に 関する研究における、専門的立場 からの助言	農林水産省消費安全局食品安全政策課	15
	室賀 紀彦 (客員教授)		農林水産省消費・安全局動物衛生課	15
	酒井 淳一 (客員教授)		株式会社ポップアップクリエイト	15
	温泉川 肇彦 (客員教授)		国立保健医療科学院生活環境研究部	15
動物 病院	宮田真智子 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物病院の 犬と猫の問題行動に関する研究 における、専門的立場からの指 導・助言	岩手大学農学部附属動物病院	192
	山崎 弥生 (客員准教授)	岩手大学農学部附属動物病院の 犬の血液病に関する研究におけ る、専門的立場からの指導・助言		
獣医 学研 究科	山本健久 (客員教授)	岩手大学大学院獣医学研究科に おける、専門的立場からの指導・ 助言	農研機構 動物衛生研究部門	48

令和3年度各種委員会名簿（農学部）

令和3年4月1日以降

（◎印は委員長【室長】・議長、○印は副委員長【班長】）

委員会	学科等		植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学	共同獣医	寒冷フィールド		動物病院	動物センター	植物園	農業教育資料館	評議員	事務部等	任期等
	学術部	学務部							ファイナルド	共同獣医							
1	学部運営会議		佐原	三浦	井良沢	金山	築城	落合	由比	山崎(真)	寺嶋			小藤田 村上 山下	◎学部長 副学部長 事務部長	2年 学科長・FSC長 R2.4.1～R4.3.31 学部長・FAMS長 R3.4.1～R5.3.31 学部長、副学部長、評議員2 学部長6、3施設から施設長各1、事務長 ※課程長3(1年 課程学生在籍の間)	
2	教員人事委員会		小藤田、村上、山下												◎学部長	2年 R3.4.1～R5.3.31 教授会において選出された教授3名	
3	教員評価委員会		×											小藤田 村上 山下	◎学部長	学部長指名の評議員 その他学部長指名	
4	企画室		◎小藤田、小森、川原田、山田(和)、金山、西向、山崎(真)													2年 R3.4.1～R5.3.31(特命班を除く)	
	将来計画班															学部長(室長)、副学部長、評議員、事務長	
	財務班		◎山下、ラーマン、斎藤(靖)、三宅、渡邊													・将来計画班 班長(組織検討委員会委員) ・財務班 班長(財務委員会委員) ・特命班 必要に応じ設置	
	特命班		◎必要な時に設置													学部長指名の教員 各班5名程度	
5	点検評価委員会		松波	宮崎	伊藤(幸)	石村	出口	○木崎		寺嶋				◎山下		2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 評議員(全学点検評価委員会委員) 各学科各1、3施設1、その他学部長指名	
7	教務委員会		磯貝 川原田	伊藤(芳) ◎塚本	○國崎	濱上 松嶋 平井	出口	高橋(正) 山田(慎)							副学部長	2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 副学部長、食料生産環境各コース及び 森林科学及び動物科学各1、他3学科各2	
8	学生支援委員会		畠山	◎木村	東	濱上	小田	○岡田								2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代)	
10	入試委員会		◎小森	山田	山内	武藤 塚越	澤井	○片山 中牟田								2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 食料生産環境(農村コースか食産業コースか ら1、水産コースから1)及び共同獣医から各 2、 他4学科から各1	
11	施設委員会		河村	宮崎	○立川	小出	村元	高橋(透)	平田	星野	大沼	立澤		◎村上		2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 評議員1、各学科各1、4施設各1	
12	国際交流委員会		下野 (～R4.3.31)	鈴木 (～R6.3.31)	○真坂 (～R6.3.31)	原科 (～R5.3.31)	西向 (～R4.3.31)	◎寺嶋 (～R5.3.31)								3年 31(29).4.1～R5(R3).3.31(3分の1交代) 各学科から各1	
13	広報委員会		殿崎	立石	斎藤(仁)	原科 折笠 後藤	西向	○佐藤(洋) 小林	白旗	一條	山田(慎)			◎山下		2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 評議員1、共同獣医学科から2、食料生産 環境各コース及び他4学科から各1、 3施設から各1	
14	情報セキュリティ 委員会		安	齋藤(靖)	○國崎	松嶋	村元	大沼	渡邊	一條				◎村上		2年 R3(R2).4.1～R5(R4).3.31(半数交代) 各学科から各1、2施設から各1 ※連大研究科長補佐、技術部1	
15	農学系技術部 運営委員会		殿崎	木村	伊藤(幸)	前田	西向	関	山本(信)	山崎(真)					◎技術部長 技術室長 事務部長	2年 R2.4.1～R4.3.31 各学科から各1、2施設から各1 (教授又は准教授) 農学系技術部長、 技術室長、事務長、技術企画運営室員	
16	教育研究圃場 運営委員会		◎下野	立石	真坂	石村	小田	佐々木	○渡邊	岡田	佐藤(至)					2年 R2.4.1～R4.3.31 各学科から各1、3施設から各1	

委員会	学科等	植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学	共同獣医	寒冷フィールド	動物病院	動物センター	植物園	農業教育資料館	評議員	事務部等	任期等	
17	寒冷フィールドサイエンス教育研究センター運営委員会	立澤	立石	東	山本(清)	出口	高橋(正)	◎由比山本(言) 平田白旗 渡邊	山崎(真)	佐藤(至)				事務長	2年 R2.4.1～R4.3.31 センター長、次長、専任教員 各学科から各1、2施設から各1 農学系技術部(農学系第一技術室及び 農学系第二技術室)から各1	
		ラーマン	伊藤(芳)	真坂	塚越	松原	落合村上※ (宇塚)※ (佐藤(繁))		◎山崎(真) 片山 星野 森田					病院事務職員	2年 R2.4.1～R4.3.31 病院長、各学科(共同獣 医を除く)から各1、共同獣医学科2、※診 療主任2、病院専任教員、病院事務職員	
19	動物医学食品安全 教育研究センター 運営委員会	安	伊藤(芳)	伊藤(幸)	小出	澤井	×	山崎(真)	◎寺嶋							
		立澤	立石	真坂	袁	澤井	佐々木				◎真坂					2年 R2.4.1～R4.3.31 植物園長、各学科から各1
21	農業教育資料館 運営委員会	ラーマン	○山田(和)	松木	武藤	松原	小林				◎松原				2年 R2.4.1～R4.3.31 館長、副館長、各学科から各1	
		◎下野	鈴木	齋藤(仁)	濱上	村元	関									2年 R2.4.1～R4.3.31 各学科から各1
23	生物環境制御装置室 運営委員会	◎畠山	鈴木	齋藤(仁)	庄野	村元	山田(鈴)									2年 R2.4.1～R4.3.31 各学科から各1
		川原田	齋藤	関野	飯田	出口	内田	山本(言)	森田					◎小藤田		2年 R2.4.1～R4.3.31 各学科から各1、2施設から各1、 その他学部部長指名
25	環境管理委員会															

(総合科学研究科農学専攻)

委員会	コース等	植物生命科学	応用生物化学	動物科学	事務部等	任期等
23	農学専攻運営委員会	佐原	三浦	築城	◎専攻長 副専攻長 事務長	2年 R2.4.1～R4.3.31 専攻長(伊藤菊)、副専攻長(三浦)、コース長3
		磯貝	齋藤	松原	◎副専攻長	2年 R3.4.1～R5.3.31 副専攻長、各コースから各1

学 生

1. 入試

(1) 令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等

学科・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名	個別学力検査実施教科・科目名等
植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース 水産システム学コース 動物科学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【(数,数・数Aから1)と(数,数・数B,簿,情報から1)】	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物) [1教科1科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物,地学から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	小論文
共同獣医学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【数・数Aと(数・数B,簿,情報から1)】	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物から1) [2教科2科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	小論文

(2) 令和4年度大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース	大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点						合計			
		国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小計	数学 数・数A・数B	理科			小論文	大学入学 希望 理由書		小計		
					数学	数学					物理 基礎物理	化学 基礎化学	生物 基礎生物						
前期 日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
		食産業 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)		20	420	1,320	
後期 日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200
		食産業 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300		300	1,200	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					200		200	1,100	

備考：表中の()は、選択科目であることを表す。

(3) 令和4年度入学者選抜状況

大学入学共通テスト 令和4年1月15日～令和4年1月16日

総合型 出願期間 令和3年12月3日～令和3年12月8日
 個別学力検査 令和3年12月27日
 合格発表 令和4年2月10日

一般選抜（前期日程・後期日程） 出願期間 令和4年1月24日～令和4年2月4日

前期日程 個別学力検査 令和4年2月25日
 合格発表 令和4年3月6日
 後期日程 個別学力検査 令和4年3月12日
 合格発表 令和4年3月20日

学科名		区分	募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		前期	28	55	34	30
		後期	4	24	4	3
		学校推薦型	4	11	7	7
		総合型	4	4	2	2
		私費外国人	若干名	1	1	1
応用生物化学科		前期	27	28	32	28
		後期	3	15	3	3
		学校推薦型	6	13	6	6
		総合型	4	6	4	3
		私費外国人	若干名	0	0	0
森林科学科		前期	18	40	25	25
		後期	4	30	4	3
		学校推薦型	5	10	5	5
		総合型	3	3	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
食料生産環境学科	農村地域デザイン学 コース 食産業システム学 コース	前期	26	48	30	28
		後期	4	21	4	4
		学校推薦型	6	11	7	7
		総合型	4	5	4	4
		私費外国人	若干名	0	0	0
	水産システム学コース	前期	10	22	11	11
		後期	3	13	4	4
		学校推薦型	5	7	5	5
		総合型	2	3	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
動物科学科		前期	18	53	23	21
		後期	3	35	3	2
		学校推薦型	6	14	6	6
		総合型	3	5	3	3
		私費外国人	若干名	0	0	0
共同獣医学科		前期	22	100	24	24
		後期	3	38	3	3
		学校推薦型	-	-	-	-
		総合型	5	46	6	6
		私費外国人	若干名	0	0	0

計	前期	149	346	179	167
	後期	24	176	25	22
	学校推薦型	32	66	36	36
	総合型	25	72	23	22
	私費外国人	若干名	1	1	1
合計		230	661	264	248

(4) 令和4年度学校推薦型選抜状況

選考方法 小論文，面接，推薦書，調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和3年11月1日～令和3年11月5日

選考試験 令和3年11月19日 小論文及び面接

合格発表 令和3年12月1日

学科名		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		4	11	7	7
応用生物化学科		6	13	6	6
森林科学科		5	10	5	5
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	6	11	7	7
	食産業システム学コース				
	水産システム学コース				
動物科学科		6	14	6	6

(5) 令和4年度植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況

選考方法 調査書，小論文及び面接（口頭試問を含む）

出願期間 令和3年5月31日～令和3年6月2日

選考試験 令和3年6月25日 小論文及び面接

合格発表 令和3年7月16日

学科・コース		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		1	2	1	1
応用生物化学科		1	1	0	0
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	2	1	0	0
	食産業システム学コース		1	1	1
	水産システム学コース		-	-	-
動物科学科		1	-	-	-

(6) 令和3年10月入学及び令和4年4月入学大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況

ア 日程

推薦入試

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
3.6.7～3.6.9	3.7.1	3.7.8

令和3年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
3.7.9~3.7.13	3.8.18~3.8.19	3.9.2

令和4年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	3.7.9~3.7.13	3.8.18~3.8.19	3.9.2
第2期	3.12.1~3.12.3	4.1.25~4.1.26	4.2.9

イ 志願者・合格者・入学者

推薦入試

専攻・コース名	募集人員	志願者	合格者	入学者
地域創生専攻 地域産業コース		13	13	12
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0
合計		13	13	12

令和3年10月入学

専攻名	募集人員	志願者			合格者	入学者
		一般入試	社会人入試	外国人留学生入試		
農学専攻 植物生命科学コース	若干名	0	0	0	0	0
農学専攻 応用生物化学コース		0	0	2	1	1
農学専攻 動物科学コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域産業コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0	0	0
合計		0	0	2	1	1

令和4年4月入学

専攻・コース名	募集人員	第1期募集				第2期募集				入学者
		志願者			合格者	志願者			合格者	
		一般入試	社会人入試	外国人留学生入試		一般入試	社会人入試	外国人留学生入試		
農学専攻 植物生命科学コース	50	15	0	0	13	2	0	1	1	14
農学専攻 応用生物化学コース		27	0	0	27	1	0	1	2	25
農学専攻 動物科学コース		6	0	0	5	1	0	0	1	6
地域創生専攻 地域産業コース	-	16	0	0	12	2	1	0	1	12
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	-	64	0	0	57	6	1	2	5	57

(7) 令和3年10月入学及び令和4年4月入学大学院獣医学研究科(博士課程)選抜状況

ア 日程

令和3年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
3. 7.14~ 3. 7.16	3. 8.20	3. 9. 2

令和4年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	3. 7.14~ 3. 7.16	3. 8.20	3. 9. 2
第2期	3.12. 1~ 3.12. 3	4. 1.27	4. 2. 9

イ 志願者・合格者・入学者

令和3年10月入学

専攻	募集人員	志願者		合格者	入学者
		一般入試	外国人留学生特別入試		
共同獣医学専攻	若干名	1	0	1	1

令和4年4月入学

専攻	募集人員	第1期募集			第2期募集			入学者
		志願者		合格者	志願者		合格者	
		一般入試	外国人留学生特別入試		一般入試	外国人留学生特別入試		
共同獣医学専攻	5	2	0	1	1	0	1	2

2. カリキュラム

(1) 植物生命科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	物理学		2	
	化学入門		2	
	化学		2	
	生物学入門		2	
	生物学		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語		2		
科学文献読解法			2	
海外特別実習			1	
卒業研究		6		
専門重点科目	農学概論	2		
	作物栽培学	2		
	食用作物学	2		
	食用作物学		2	
	園芸学	2		
	園芸学	2		
	園芸学		2	
	基礎遺伝学	2		
	植物育種学	2		
	植物育種学	2		
	遺伝育種学		2	
	環境植物生理学		2	
	General Plant Biology	2		
	植物生理学	2		
	植物病理学	2		
	植物病理学	2		
	植物ウイルス学		2	
	応用昆虫学	2		
	応用昆虫学	2		
	昆虫生理学		2	
	農業経済学	2		
	食料・農業政策論		2	
	農業経営学		2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	植物生命科学実験	1	
	農学のための倫理		1
	植物生命科学と倫理	1	
	農業時事演習		1
	植物生命科学演習	1	
	植物生命科学演習	1	
	雑草防除論		2
	農場実習	1	
	農場実習		1
	農場特別実習		1
専門展開科目	生化学	2	
	生化学		2
	分子生物学	2	
	分子生物学		2
	基礎分析化学	2	
	基礎分析化学		2
	農業気象・環境学	2	
	有機化学概論	2	
	植物ストレス応答学		2
	微生物学概論		2
必要修得単位数		53	38
合計必要修得単位数		91	

(2) 応用生物化学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	物理学入門		2
	基礎物理学実験		1
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	基礎生物学実験		1
	生物学		2
	地学入門		2
	基礎化学実験	1	
			5
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	有機化学概論	2	
	生化学	2	
	基礎分析化学	2	
	生化学	2	
	土壌資源利用論	2	
	食品化学・食品学	2	
	食品化学工学	2	
	天然物化学	2	
	微生物学概論	2	
	栄養化学・栄養学	2	
	分子生物学	2	
	植物栄養生理学	2	
	農学のための倫理		1
	ケミカルバイオロジー	2	
	微生物生理学	2	
	植物栄養学・肥料学	2	
	食品衛生学	2	
	生化学		2
	食品加工物理化学		2
	遺伝子工学		2
	分子生物学		2
	公衆衛生学		1
	機器分析化学	2	
	産業微生物学		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	美味学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	食品保蔵学	2	
	食品機能学		2
	細胞生物学		2
	植物ストレス応答学		2
	応用生物化学演習	1	
	応用生物化学演習	1	
	分析化学実験	1	
	植物栄養学実験	1	
	食品化学実験	1	
	生化学実験	1	
	微生物学実験	1	
	化学生物学実験	1	
	栄養化学実験	1	
	分子生物学実験	1	
	食品化学工学実験	1	
専門展開科目	植物生理学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	林産化学		2
	作物栽培学		2
	食用作物学		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	農業経済学		2
	農産食品プロセス工学		2
	動物資源利用学		2
	動物資源利用学		1
水産微生物学		2	
水産食品加工学		2	
水産食品化学		2	
生命情報学		2	
医薬科学		2	
必要修得単位数		59	32
合計必要修得単位数		91	

(3) 森林科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学	2	
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			4
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ	1	
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
卒業研究	6		
専門重点科目	森林科学入門	2	
	森林科学基礎演習	1	
	木材と住宅	2	
	森林計測学	2	
	林業・木材産業論	2	
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	2	
	環境防災学		2
	樹木学	2	
	樹木学実習	1	
	暖帯林概論		1
	森林科学研修	1	
	技術者倫理入門	2	
	林産化学	2	
	森林・雪氷水文学		2
	山村経済・地域おこし論		2
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	2	
	森林利用学	2	
	地域生態系保全論		2
	野生動物管理学	2	
	森林環境教育論		2
	森林保全生態学		2
	木材工学		2
	木材工学演習		1
	森林バイオマスの成分利用		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	森林化学演習		1
	砂防学	2	
	森林利用学実習	2	
	海外・日本の林業	2	
	森林政策学	2	
	森林造成学	2	
	森林造成学実習	2	
	森林計測学実習	1	
	自然環境保全論		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	野生動物管理学実習		1
	環境と樹木の生理		2
	森林保護学		2
	森林科学応用演習	1	
砂防学実習	1		
森林計画学		2	
データ分析演習		1	
森林科学応用演習	1		
公開森林実習		1	
専門展開科目	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	植物病理学		2
	植物病理学		2
	植物病理学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	生化学		2
	微生物学概論		2
	分子生物学		2
	機器分析化学		2
	応用力学		2
	応用数学		2
	構造力学		2
	水理学		2
	緑地環境学		2
	施設開発管理学		2
地域景観保全論		2	
フィールドロボティクス及び農作業安全		2	
必要修得単位数		59	32
合計必要修得単位数		91	

(4) - 1 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			3
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	構造力学	2	
	構造力学演習		1
	土質力学	2	
	土質力学演習		1
	測量学	2	
	測量学基礎実習	1	
	測量学フィールド実習	1	
	地理情報処理学	2	
	地理情報処理演習		1
	水理学	2	
	水資源論	2	
	水理学実験演習		1
	土壌物理学	2	
	施設開発管理学	2	
	水文・水利学	2	
	農地工学	2	
	土壌・土質実験		1
	材料実験		1
	地域デザイン論	2	
	環境防災学		2
農村計画学	2		
緑地環境学		2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	地域生態系保全論		2
	地域景観保全論	2	
	地域振興政策論		2
	海外農林開発論		2
	環境修復学		2
	農村地域デザイン学演習	1	
	農村地域デザイン実践論	2	
農村地域デザイン学セミナー		1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	農業経済学		2
	農業気象・環境学		2
	栽培施設学		2
	食料・農業政策論		2
	農業動力利用学		2
	土壌資源利用論		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	栽培環境制御学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	基礎分析化学		2
	機器分析化学		2
	食品化学工学		2
	食品加工物理化学		2
	木材と住宅		2
	森林環境教育論		2
	野生動物管理学		2
	砂防学		2
農業循環工学		2	
NPO・環境ガバナンス論		2	
必要修得単位数		50	41
合計必要修得単位数		91	

(4) - 2 食料生産環境学科 食産業デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	栽培施設学	2	
	農業気象・環境学	2	
	植物環境物理学		2
	栽培環境制御学		2
	農作業システム学	2	
	農業動力利用学	2	
	フィールドロボティクス及び農作業安全		2
	農業循環工学	2	
	機械と施設的设计	2	
	ものづくり実習	1	
	ポストハーベスト工学	2	
	熱工学	2	
	農産食品プロセス工学	2	
	生鮮食品保存科学	2	
	農業経済学	2	
	農業経営学		2
	食料・農業政策論	2	
	農業時事演習	1	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学演習	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	農場実習	1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	基礎遺伝学		2
	雑草防除論		2
	食用作物学		2
	園芸学		2
	園芸学		2
	園芸学		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	農場実習		1
	農場特別実習		1
	制御工学		2
	ロボティクス工学		2
	土質力学		2
	地域生態系保全論		2
	地理情報処理学		2
	水資源論		2
	水理学		2
	土壌物理学		2
	農地工学		2
	農村計画学		2
土壌資源利用論		2	
植物栄養学・肥料学		2	
食品化学工学		2	
食品化学・食品学		2	
微生物学概論		2	
食品機能学		2	
食品保蔵学		2	
美味学		2	
食品衛生学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		51	40
合計必要修得単位数		91	

(4) - 3 食料生産環境学科 水産システム学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学		2
	応用力学		2
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	水産科学入門	2	
	水産増殖学	2	
	水産動物学	2	
	水産植物学	2	
	水族ゲノム生物学		2
	水族生理学	2	
	漁業資源生態学	2	
	水圏環境学		2
	数理漁業資源学	2	
	水産食品加工学	2	
	水産食品化学		2
	水産微生物学		2
	ミクロ経済学入門	2	
	経営管理学入門	2	
	地域振興経済・政策論	2	
	自然環境論		2
	環境経済学・資源経済学入門	2	
	水産物流・マーケティング論	2	
	水産制度学	2	
	水産政策学	2	
	コミュニケーション論	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	水産生物学実験	1	
	分析化学実験	1	
	海洋実習	1	
	海洋実習	1	
	漁村調査実習	1	
	漁具漁法概論		2
	漁業資源管理学		2
	水産生命科学特別講義		2
	水産システム学演習	1	
水産システム学演習	1		
専門展開科目	基礎遺伝学		2
	熱工学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	地域デザイン論		2
	地域生態系保全論		2
	遺伝子工学		2
	基礎分析化学		2
	細胞生物学		2
	食品衛生学		2
	食品化学・食品学		2
	食品機能学		2
	食品加工物理化学		2
	公衆衛生学		1
	生化学		2
	食品化学工学		2
	食品保蔵学		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	動物組織学		1
動物発生学		1	
ロボティクス工学		2	
制御工学		2	
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(5) 動物科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	化学入門		2
	生物学入門		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
	物理学		2
	化学		2
	生物学		2
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	動物科学総論	2	
	実験動物学概論	1	
	動物生理学	2	
	動物生理学	2	
	動物形態学	2	
	動物形態学	2	
	動物組織学	1	
	動物遺伝育種学	2	
	動物発生学	1	
	動物生殖学	2	
	動物生殖学各論	1	
	家畜生殖技術論	1	
	動物栄養学	2	
	動物栄養学	2	
	飼料機能学	2	
	家畜飼養学	2	
	愛玩動物栄養学		1
	草地学	2	
	畜産環境評価論		2
	動物管理学	2	
	動物行動学	2	
	動物園学		1
	野生動物学		1
	動物資源利用学	2	
	動物資源利用学		1
	農学のための倫理		1

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	動物科学実験	3	
	動物科学実験	3	
	牧場実習	1	
専門展開科目	農業経営学		2
	食品化学工学		2
	応用昆虫学		2
	食品化学・食品学		2
	生化学		2
	生化学		2
	野生動物管理学		2
	分子生物学		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	食品保蔵学		2
	地域生態系保全論		2
	基礎遺伝学		2
	微生物学概論		2
	植物栄養学・肥料学		2
	有機化学概論		2
	植物生理学		2
	天然物化学		2
	美味学		2
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		51	40
合計必要修得単位数		91	

(6) 共同獣医学科

区分1	区分2	授業科目	単位数			
			必修	選択		
基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	2			
		獣医倫理	2			
		獣医事法規	1			
		運動器・神経系解剖学	2			
		内臓・脈管系解剖学	2			
		解剖学実習	3			
		組織学	2			
		組織学実習	1			
		発生学	1			
		統合生理学	2			
		器官制御生理学	2			
		内分泌学	2			
		生理学実習	1			
		獣医遺伝育種学	1			
		動物行動学	2			
		実験動物学	2			
		実験動物学実習	1			
		基礎放射線学	2			
		獣医基礎生化学	2			
		獣医代謝生化学	2			
		生化学実習	1			
	基盤薬理学	2				
	統合薬理学	2				
	薬理学実習	1				
	小計			41		
	基礎獣医学科目	病原獣医学科目群	微生物学総論	2		
			病原微生物学	2		
			微生物学実習	1		
			微生物学実習	1		
			免疫学	2		
			原虫・原虫病学	2		
			蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	2		
			寄生虫学実習	1		
			動物感染症学	3		
			家禽疾病学	2		
			魚病学	2		
			動物病理学総論	2		
			動物病理学各論A(主要臓器)	2		
			動物病理学各論B(他臓器・組織)	2		
			病理学実習	1		
			病理学実習	1		
小計			28			
基礎獣医学科目			応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	1	
	疫学	2				
	人獣共通感染症学	2				
	環境衛生学	2				
	公衆衛生学実習	1				
	毒性学	2				
	毒性学実習	1				
	動物衛生学	2				
	動物衛生学実習	1				
	野生動物学	1				
	食品衛生学(獣医)	2				
	食品衛生学実習	1				
公衆衛生実践実習	1					
小計			19			

区分1	区分2	授業科目	単位数		
			必修	選択	
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	1		
		呼吸器病・循環器病学	2		
		消化器病学	2		
		外科学総論	1		
		麻酔学・手術学	1		
		軟部外科学	1		
		小動物内科学実習・基礎編	1		
		小動物内科学実習・応用編	1		
		小動物外科学実習・基礎編	1		
		小動物外科学実習・応用編	1		
		内分泌病・皮膚病学	2		
		代謝病・中毒学	1		
		血液免疫病学	1		
		神経病・運動器病学	2		
		泌尿器病・生殖器病学	2		
		臨床病理学	2		
		臨床薬理学	1		
		臨床腫瘍学	2		
		臨床栄養学	1		
		画像診断学	2		
		画像診断実習	1		
	眼科学	1			
	動物行動治療学	1			
	総合参加型臨床実習	1			
	総合参加型臨床実習	1			
	総合参加型臨床実習	1			
	総合参加型臨床実習	1			
	小計			35	
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2		
		臨床繁殖学	2		
		繁殖機能制御学実習	1		
		臨床繁殖学実習	1		
		産業動物臨床学	2		
		産業動物臨床学	2		
		馬臨床学	1		
大動物臨床実習・基礎編		1			
大動物臨床実習・応用編		1			
総合参加型臨床実習		1			
総合参加型臨床実習		1			
小計			15		
選択科目		インターンシップ(獣医)		1	
		海外実習		1	
	人と動物関係学		2		
	動物品種論		2		
	食品安全管理学		2		
	動物園動物学		2		
	国際感染症制御学		2		
	動物病院経営学		2		
小計			6		
専修科目	獣医学演習		4		
	卒業研究		10		
	小計			14	
計			152	6	
合計			158		

3. 学部学生

(1) 入学年度別在籍者数

令和3年4月1日現在

入学年度 学科・課程	定員			令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	入学	編入	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	40	1	162	22	19	41	25	14	39	18	22	40	26	14	40	4	-	4
応用生物化学科	40	1	162	20	18	38	18	24	42	11	31	42	21	21	42	2	-	2
森林科学科	30	-	120	16	13	29	16	17	33	18	13	31	18	11	29	3	2	5
食料生産環境学科	60	2	244	34	27	61	37	25	62	40	26	66	33	27	60	-	1	1
動物科学科	30	1	122	7	20	27	10	22	32	10	22	32	10	20	30	-	1	1
共同獣医学科	30	-	180	18	16	34	17	15	32	12	22	34	16	16	32	19	15	34
農学生命課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
応用生物化学課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
動物科学課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	230	5	990	117	113	230	123	117	240	109	136	245	124	109	233	28	19	47

入学年度 学科・課程	平成28年度			平成27年度			平成26年度			平成25年度			平成24年度			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96	69	165
応用生物化学科	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	95	168
森林科学科	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	56	131
食料生産環境学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	144	106	250
動物科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	85	122
共同獣医学科	18	13	31	-	1	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	102	98	200
農学生命課程	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
応用生物化学課程	-	-	-	2	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	3
動物科学課程	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
計	24	14	38	3	2	5	1	-	1	2	-	2	-	-	-	531	510	1041

(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講学生受入状況

令和3年4月1日現在

区分	研究生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
学部	5	0	1	6
大学院	1	0	0	1
計	6	0	1	7

4 . 大学院修士課程

(1) 在籍者数

総合科学研究科

令和3年10月1日現在

専攻・コース	定員		令和3年度			令和2年度			平成31年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
地域創生専攻 地域産業コース (農学部に所属する教員が指導する学生)			12	6	18	9	5	14	1	2	3	22	13	35
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (農学部に所属する教員が指導する学生)			1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
農学専攻 植物生命科学コース	50	100	4	3	7	7	5	12	2	0	2	13	8	21
農学専攻 応用生物化学コース			8	7	15	11	7	18	0	0	0	19	14	33
農学専攻 動物科学コース			3	4	7	2	7	9	0	0	0	5	11	16
計			31	25	56	40	25	65	1	1	2	73	51	124

(2) 修了者数

総合科学研究科

令和4年4月1日現在

専攻・コース	令和3年度	備考
地域創生専攻 地域産業コース	14	
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	0	
農学専攻 植物生命科学コース	14	
農学専攻 応用生物化学コース	18	
農学専攻 動物科学コース	10	
計	56	

(4) 修士論文一覧

令和3年9月修了

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム	LIN YUMENG	ツノナシオキアミの原料特性と黒変に関する酵素の部分精製および利用
農学専攻 植物生命科学コース	鈴木 征爾	パーズニアストックの花弁に含まれるフラボノールの構造決定
農学専攻 動物科学コース	松崎 駿	牛白血病防除に関する研究 農場における牛白血病ウイルス媒介昆虫のリスク評価

令和4年3月修了

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム	大須賀 玲	青果物の日持ち向上に向けた過冷却保存技術の適用
	生駒 直	森林作業道および皆伐地集材路における損壊実態把握
	上臺 美咲	植物葉の温度負荷応答に基づく環境ストレスの推定手法の検討
	窪田 成美	市販ハウレンソウ高糖度化のための環境制御技術の検討
	近藤 雄太	紫波町赤沢地区における電気柵による被害防除を選択する住民意識に関する研究
	原田 周	北奥羽地域におけるツキノワグマの食性の特徴に関する研究
	岑村 森悟	岩手県内におけるカワウの食性解明
	八幡 直輝	森林教育実践者から見た森林教育の課題
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム	依山 彩	岩手産サケの消化管内寄生虫相および糸虫類2種の遺伝的特徴
	佐藤 里胡	様々な冷蔵保管条件におけるホタテガイ閉殻横紋筋に含まれるエネルギー関連物質の経時変化
	塩谷 一樹	トラウトサーモンにおける海水適応能評価の試み
	谷瀬 香保	東北沖ババガレイの資源生態学的研究
	中村 洸介	ポートフォリオ漁業分析による定置網の漁業経営安定性
農学専攻 植物生命科学コース	瀧田 耀平	モノソミーカイコの生殖からみる染色体動態のダイナミズム
	SHEN FANGQI	ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子 <i>Crr3</i> の単離に関する研究
	大谷 昭博	リンゴ肥大要因から推察した裂果原因の解明
	岡村 森	土壌中のカリウム局在が水稻のセシウム吸収に及ぼす影響
	加藤 旦	植物の低温誘導性カルシウムシグナルとカルシウムチャネルMCAの関与
	川村 奈央	遺伝分離を利用したベビーリーフ用優良系統の育成
	佐藤 晴香	リンゴのゲノム編集を見据えた培養技術の開発
	佐野 広之	<i>Dendrobium nobile</i> およびその園芸品種の花色とアントシアニン
	高橋 俊介	凍結で誘導される植物の馴化メカニズムとその生理学的解析

専攻・コース等	氏 名	修 士 論 文 題 目
農学専攻 植物生命科学コース	千葉 悠平	根粒共生を決定する宿主特異性メカニズムに関する研究
	中村 加菜江	ゲノム編集を利用した黄変抑制ブロッコリーの開発に関する研究
	原 絢女	リンドウの新規育種素材の開発に関する研究
	半澤 綾	Understanding the functional role of actin isoforms in cold stress response of <i>Arabidopsis thaliana</i>
農学専攻 応用生物化学コース	青山 さや	豆乳の起泡性と呈味性に及ぼす大豆サポニンの影響
	石井 達也	食品テクスチャーが良好な米飯塊の粒子充填構造と力学的特性との因果関係の明確化
	石沢 清太	フェネチルイソチオシアネートによる骨格筋タンパク質分解抑制効果の作用機序解析
	上野山 怜子	Studies on chemical, neuronal, and behavioral aspects of the feline response to iridoid-producing plants
	大川 紘奈	パレイショ澱粉の老化に対する乳化剤の抑制機構の解明
	小野寺 拓夢	HSET 過剰発現分裂酵母株に作用する紫の種子からの抗がん物質の単離精製、構造決定、並びに生物活性
	川端 菜月	菌類のセシウム吸収特性の評価と森林の堆積腐植層での除染への応用
	神林 佑	がん精巢抗原の定量系の構築および機能に関する研究
	工藤 唯	久慈産琥珀からの呈色反応を示す生物活性物質の単離精製、構造決定、並びに生物活性
	佐々浪 由梨香	<i>Pseudoxanthomonas</i> sp. TN-N1 由来の生分解性プラスチックナイロン4分解酵素
	澁谷 泰我	ザゼンソウの肉穂花序における GS/GOGAT 回路の解析
	菅野 拓朗	大豆加工食品における化学修飾サポニンの探索
	高橋 弦太	プロファイル解析による大豆サポニンの化学構造決定と新規生成経路の解明
	高橋 佑季	光化学系Ⅰ反応中心クロロフィルP700吸収を用いたイネにおける水ストレス検出の検討
	村主 渉	Lactaldehyde reductase 遺伝子の変異導入による組換え大腸菌におけるグリコール酸生産量の向上
	山田 桃子	チオール化合物によるグルタミン酸誘導性神経細胞死の抑制
吉田 渉	網膜疾患モデルマウスを用いたチオール化合物の視細胞保護効果の検証	
和泉 宏彬	クローバー小葉数制御関連遺伝子の発現・機能解析	
農学専攻 動物科学コース	岩波 梨花	慢性腎臓病モデル動物における体内エーテル型リン脂質の変動に関する研究
	樺元 鈴菜	飼料中の異なるタンパク質源および必須アミノ酸の添加がニワトリの血漿中アミノ酸アマトリ化合物濃度に及ぼす影響
	佐藤 英優	マウス精巣における KK-LC-1 の発現解析と新規生殖細胞マーカーとしての可能性
	庄司 智彦	紫外線照射における皮膚炎発症が皮膚脂質組成に及ぼす影響
	鈴木 結子	猪肉の pH が理化学特性、官能特性、および加工特性に及ぼす影響
	中願寺 加奈	都市近郊林に生息するニホンリスの行動および行動圏の季節変化
	千代島 時人	分布拡大地域(岩手県雫石町)におけるイノシシの日周活動性、掘り起こしを伴う採食場所、泥浴び行動の季節変化
	平川 祥	ニワトリにおける生体内糖化に及ぼすアミノ酸の影響
	横田 朋佳	接触型電極を用いたインピーダンス測定による塩漬中の牛肉の理化学特性および Na 含量の非破壊推定

5 . 大学院博士課程

(1) 岩手大学大学院獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 5名】

令和4年3月23日

入学年度	専攻	講座	氏名	学位論文題目	指導教員
30	共同獣医学	獣医衛生科学	大快 峻輝	L型非定型牛海綿状脳症(BSE)の発生機序に関する数理モデルを用いた検証	村上賢二
30	共同獣医学	獣医臨床医科学	土谷 佳之	乳牛の亜急性第一胃アシドーシスにおける末梢血中の酸化ストレス指標と肝組織中の遺伝子発現に関する研究	高橋 透
30	共同獣医学	獣医衛生科学	富田 啓介	牛白血病ウイルス感染に対する黒毛和種子牛における初乳中抗体と乳汁感染防除に関する研究	岡田啓司
30	共同獣医学	動物基礎医学	山際 慶典	ウサギにおける眼毒性発現に関する研究	落合謙爾
30	共同獣医学	獣医臨床医科学	吉山 紬	周排卵期の卵胞発育動態が黒毛和種雌牛の受胎性に及ぼす影響に関する研究	木崎景一郎

(2) 岩手大学大学院連合農学研究科

【課程修了による学位取得者 10名】

令和3年9月24日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
30	生物生産科学	植物生産学	清水 拓	岩手大学	果肉難褐変性を有するリンゴ品種の効率的な育成に関する研究 (Development of efficient evaluation and selection method for flesh browning in apple breeding)	小森貞男
30	生物生産科学	植物生産学	BOTIROV ALISHER	弘前大学	Promoting young apple tree growth after planting in water limited areas (水が限られた地域における植え付け後のリンゴ樹の成長促進)	荒川 修
30	生物生産科学	生物生態制御学	VALENSI KAUTSAR	山形大学	Studies on carbon and nitrogen dynamics in Japanese Andosols as influenced by long-term organic rice farming (日本火山灰土壌における炭素と窒素の動態変動に及ぼす長期有機稲作栽培の影響に関する研究)	程 為国
30	生物資源科学	生物分子機能学	千葉 剛大	弘前大学	線虫 ROP-1/Y RNA 複合体を構成する Y RNA レパートリーの解析 (Analysis of Y RNA repertoires that constitute <i>Caenorhabditis elegans</i> ROP-1/Y RNP)	牛田千里

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
30	生物資源科学	食品科学	小館 磨	岩手大学	タンパク質含有率を制御した低アミロース米の加工特性及び理化学特性に関する研究 (Research on processing and physicochemical properties of Low amylose content rice with controlled protein content)	小出章二
30	生物資源科学	食品科学	孫 慧練	岩手大学	Efficient profiling base on the database to elucidate chemical structure and biosynthetic pathway of soyasaponins (大豆サポニンの化学構造と生合成経路解明のための効率的なデータベース構築とプロファイル解析)	塚本知玄
30	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	平井 華代	岩手大学	民間団体によるつながりの形成を通じた子どもの貧困問題への取り組み (The social capital building by civil society organizations in addressing child poverty)	比屋根哲
30	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	BRANDT SARAH	山形大学	Plant species detection and classification with image analysis focused on deep learning techniques in natural environments (深層学習技術を用いた画像分析による自然環境下における樹種の識別と分類)	Lopez Caceres Maximo Larry
29	生物環境科学	地域環境工学	市浦 茂	山形大学	IoT と AI を用いたニワトリの個体管理技術に関する研究 (Studies on IoT and AI based Broiler Chicken Management Technology)	片平光彦
29	生物環境科学	地域環境管理学	王 莫非	山形大学	モウソウチク地上部呼吸のスケーリング - タケノコから成熟タケへ - (Scaling of above-ground respiration of Moso bamboo (<i>Phyllostachys pubescens</i>) - from sprouting to mature stage -)	森 茂太

【論文提出による学位取得者 1名】

令和3年9月24日

氏名	博士学位論文名	推薦教員名 (所属大学)
RICKSY PREMATUREI	Characteristics of post mining soils in Indonesia and its remediation (インドネシアの鉱山跡地土壌の性質およびその修復)	俵谷圭太郎 (山形大学)

【課程修了による学位取得者 16名】

令和4年3月23日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R1	生物生産科学	植物生産学	DUMBUYA GIBRILLA	岩手大学	Effect of elevated soil temperature on productivity of tuber and legume crops under cool climate (寒冷地における地温上昇がイモ類・マメ類作物の生産性に及ぼす影響)	下野裕之
R1	生物生産科学	生物生態制御学	NGUYEN HA TRANG	山形大学	Evaluation and identification of bark beetle-induced forest degradation using RGB-acquired UAV images and machine learning techniques (無人航空機のRGB画像と機械学習技術を用いたキクイムシによる樹木の劣化の識別と評価)	長谷 修
R1	生物資源科学	生物分子機能学	荒川 将志	弘前大学	Valosin-Containing Protein (VCP) /p97 が制御するフラビウイルス増殖の分子機構 (Valosin-Containing Protein (VCP) /p97 is involved in Flavivirus propagation)	森田英嗣
30	生物資源科学	ゲノム・細胞システム学	PARVEEN SUMAYA	岩手大学	Understanding the role of cytoskeletal component, actin in prolonged moderate high temperature mediated stress response in <i>Arabidopsis thaliana</i> (シロイヌナズナにおける長期的な中程度の高温ストレス応答に対するアクチン細胞骨格の役割)	RAHMAN, Abidur
R1	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	山田 亮	岩手大学	森林環境下における自然体験活動の教育的効果に関する多面的検証 (Multifaceted verification of the educational effects of nature experience activities in forest environment)	比屋根 哲
R1	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	ROSALIA NATALIA SELEKY	山形大学	Determinants analysis of farm succession in Indonesian agriculture (インドネシア農業における農場継承の決定要因分析)	小沢 互
R1	地域環境創生学	地域環境工学	WINDRA PRAYOGA	山形大学	Multidrug-resistant <i>Escherichia coli</i> in municipal wastewater as an indicator of its prevalence and a source of farm contamination in Southeast Asia (東南アジアにおけるその流行指標および農地汚染の起源としての都市下水中の多剤耐性大腸菌)	渡部 徹
R1	地域環境創生学	地域環境工学	SINGH DHIRENDRANATH	山形大学	Development of a crop growth monitoring system using an unmanned ground vehicle (UGV) and deep learning for rice cultivation (水稲栽培における無人地上車両(UGV)と深層学習を用いた作物モニタリングシステムの開発)	片平光彦

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
30	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	QUR'ANI Citra Gilang	山形大学	Towards a better understanding of survival behavior of Black locust against environmental and physical disturbances (環境および物理的障害に対するニセアカシアの生存行動の更なる理解に向けて)	吉村謙一
30	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	本多 里奈	弘前大学	カワウ・アオサギ混合コロニーにおける複雑な種間相互作用と個体群動態 (Complex interaction and population dynamics in mixed-species colony of Great Cormorant and Grey Heron)	東 信行
R1	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	大竹 崇寛	岩手大学	都市緑地に生息するニホンリスの移動と遺伝子交流 (Movement and gene flow of Japanese squirrel in urban habitat)	出口善隆
R1	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	木村 彰宏	弘前大学	ブナ林に生息する樹上性昆虫の群集構成の地理パターンおよび交雑に伴う進化に過去の氷期と間氷期の繰り返しと与える影響 (Geographic pattern of the community structure and the evolution associated with hybridization in arboreal insects in Japanese beech forests due to past glacial-interglacial climate change)	池田紘士
R1	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	黒澤 陽子	山形大学	Scaling of shoot and root respiration rate, fresh mass, and surface area of <i>Fagus crenata</i> during ontogeny (ブナ種子～成木の地上部と根の呼吸、重量、表面積のスケーリング)	森 茂太
29	生物生産科学	動物生産学	中村 啓哉	岩手大学	マウス胎子の精巣発達と雄性生殖細胞における遊走性 (Fetal testis development and migration of male germ cells in mouse)	松原和衛
28	生物資源科学	ゲノム工学	野中 光代	岩手大学	セイヨウナタネ (<i>Brassica napus</i> L.) の革新的な品種育成のための基盤的研究 (Studies on innovative breeding in rapeseed (<i>Brassica napus</i> L.))	畠山勝徳
29	生物資源科学	生物資源利用学	古澤 優佳	山形大学	積雪地域におけるモウソウチクの栽培管理と化学的特性 (Cultivation management and chemical characteristics of moso bamboo in snow-covered areas)	芦谷竜矢

(3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 なし】

【論文提出による学位取得者 なし】

国際交流

1. 海外渡航

令和3年度は、海外渡航の実績なし。

2. 外国人研究者の受入

氏名	現職	研究(研修)期間	受入区分	受入学科等・教員名	
劉 嘉儀	岩手大学	R3.4.1~R3.9.30	客員研究員	寒冷フィールドサイエンス 教育研究センター	渡邊 学

3. 留学生の受入

令和3年11月1日現在

		中国	韓国	バングラ	ベトナム	エジプト	計	
学部	植物生命科学科	2	1				3	
	応用生物化学科		1		1		2	
	森林科学科						0	
	食料生産環境学科	1					1	
	動物科学科	1					1	
	共同獣医学科						0	
計		4	2	0	1		7	
大学院	総合科学研究科 農学専攻	2					2	
	総合科学研究科 地域創生専攻()	0	1				1	
	計	2	1	0	0		3	
研究生等	研究生	学部	1				1	
		大学院	1		1	1	3	
	特別聴講学生	学部						0
		大学院						0
計		2	0	1	0		4	
合計		8	3	1	1	1	14	

は、農学部に所属する教員が受け入れた留学生の人数を記載。

4. 交換留学生の派遣と受入

令和3年度は、派遣、受入ともに実績なし。

地域交流

1 . セミナー・公開講座等の開催

(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの （森林科学科）

第 236 回木を勉強する会（木勉会）

- ・期 日：令和 4 年 3 月 10 日（木）13：30～16：30
- ・場 所：プラザおでって（おでってホール）
- ・テ ー マ：第 1 回いわて漆サミット
- ・プログラム
 - (1) ミツバチを利用したウルシ種子の増産（農学部：真坂一彦）
 - (2) 育苗コンテナを利用したウルシ苗木育成（農学部：白旗学）
 - (3) ウルシ林が抱える虫害リスクの現状と課題（農学部：松木佐和子）
 - (4) ウルシ林の資源量予測（農学部：真坂一彦，齋藤仁志）
 - (5) ウルシ若木の内樹皮圧搾による新たな漆採取技術の模索（農学部：関野 登）
 - (6) ウルシ生産の担い手問題と展望（農学部：伊藤幸男）
- ・主 催：岩手県，岩手大学，いわて漆振興実務者連携会議
- ・共 催：岩手県森林・林業会議，木を勉強する会（木勉会）
- ・参加人数：会場 68 名，オンライン 56 名，計 124 名

第 237 回木を勉強する会（木勉会）

- ・期 日：令和 4 年 3 月 24 日（木）13：30～15：00
- ・場 所：オンライン開催（(地独) 岩手県工業技術センター）
- ・テ ー マ：コンブウッドシステムを活用した曲木加工技術
- ・プログラム
 - (1) コンブウッドシステムを活用した曲木加工技術とこれまでの研究成果の紹介
 - (2) 「100 年つなぐ岩手の工芸」ビジネスモデル策定支援事業及び新規導入設備の紹介
- ・講 師：(地独) 岩手県工業技術センター 産業デザイン部
部長 小林正信，主査専門研究員 内藤廉二，主任専門研究員 有賀康弘
- ・主 催：(地独) 岩手県工業技術センター「木材加工技術講習会」
- ・共 催：岩手木工研究会，木を勉強する会（木勉会）
- ・参加人数：13 名

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

牛の体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用編）

- ・対 象：胚培養士
- ・期 日：令和 3 年 4 月 5 日（月）～16 日（金）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：1 名
- ・内 容：株式会社先端生殖技術研究所の胚培養士に対し，牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

牛の臨床繁殖検査等に関する技術研修

- ・対 象：岩手県農業共済組合新採獣医師
- ・期 日：令和 3 年 6 月 2 日（水）～6 月 25 日（金）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：4 名

- ・内 容：岩手県農業共済組合に新規採用された獣医師に対し，牛の直腸検査などに関する技術研修のため，供試牛と場所を提供した．

岩手ブルーベリーの会栽培講習会

- ・対 象：岩手県内ブルーベリー生産者
- ・期 日：令和3年6月30日（水），7月7日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：6名
- ・内 容：予約制でブルーベリー品種見本園の見学を受け入れた．

（一社）岩手県緑友会 樹木判別勉強会

- ・対 象：林業関係団体
- ・期 日：令和3年7月2日（金）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：9名
- ・内 容：滝沢演習林内に自生する樹木種それぞれの特徴と同定方法について実地研修を行った．

令和3年度森林作業道路網計画作成・オペレーター研修

- ・対 象：作業道作設オペレーター
- ・期 日：令和3年7月28日（水）～29日（木）
- ・場 所：岩手県林業技術センター
- ・参加人数：15名
- ・内 容：適切な森林作業道作設のために，路線踏査技術について研修した．

令和3年度フォレストリーダー研修

- ・対 象：林業の現場技術者研修（FL研修 森林整備部門）
- ・期 日：令和3年7月29日（木）
- ・場 所：岩手県林業技術センター研修室
- ・参加人数：29名
- ・内 容：岩手県内の現場技術者に対し，森林管理目標，間伐，主伐，森林調査，目標林型に向けた施業設計に関する講義・演習（計7時間）を行った．

令和3年度高知林業大学校専攻課程講義

- ・対 象：高知県林業大学校生
- ・期 日：令和3年8月20日（金）
- ・場 所：高知県林業大学校（WEB）
- ・参加人数：20名
- ・内 容：最新の森林情報化技術について講義を行った．

令和3年度森林作業道作設オペレーター指導者研修

- ・対 象：作業道作設オペレーター・自治体職員
- ・期 日：令和3年9月～10月の6日間
- ・場 所：栗原高原森林組合 白石蔵王森林組合
- ・参加人数：計30名
- ・内 容：適切な森林作業道作設のために，路線踏査技術について研修した．

第 88 回フォレストテクニカルエクステンション - 地域林業支援プログラム (13)

- ・対 象：高性能林業機械オペレーター研修生
- ・期 日：令和3年9月2日(木)～10日(金)
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：8名
- ・内 容：高性能林業機械オペレーター研修にハーベスタ、フォワーダ、スイングヤーダに関する操作実習を行った。

いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対 象：岩手県内の農業者等
- ・期 日：令和3年9月15日(水)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：21名
- ・内 容：由比教員と渡邊教員が、それぞれ野菜とブルーベリーに関して講義した。その後、イネ初冬直播き栽培、リンゴ‘はるか’、クッキングトマトなどを見学した。

岩手・宮城県林業経営者協会合同研修会

- ・対 象：岩手・宮城県林業経営者協会会員
- ・期 日：令和3年10月4日(月)
- ・場 所：オンライン
- ・参加人数：10名
- ・内 容：オンラインにて、演習林が取り組む旧薪炭生産用広葉樹林に対する施業を中心に、広葉樹林施業についての講義を行った。

岩手・宮城県林業経営者協会合同研修会

- ・対 象：岩手・宮城県林業経営者協会会員
- ・期 日：令和3年10月18日(月)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：11名
- ・内 容：滝沢演習林において、「不伐の森」および「広葉樹筋残し刈り試験地」を用いて広葉樹林施業について、またアカマツ保残木施業林を用いてアカマツの天然更新についての研修をおこなった。

令和3年度林業アカデミーふくしま短期研修講座「提案型集約化施業実践」研修

- ・対 象：森林施業プランナーの取得希望者
- ・期 日：令和3年10月の2日間
- ・場 所：福島県林業技術センター
- ・参加人数：12名
- ・内 容：森林施業と路網計画に立案の関係性について研修した。

林内路網調査 林道変状の調査手法研修会

- ・対 象：長野県林業コンサルタント協会
- ・期 日：令和3年10月の2日間
- ・場 所：長野県 林道美ヶ原線
- ・参加人数：5名
- ・内 容：高解像度カメラとGNSSを用いた路線調査技術について研修した。

個別型哺乳ロボットシステム研修会

- ・対象：畜産技術者，臨床獣医師
- ・期 日：令和3年10月28日（木）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：10名
- ・内 容：岩手（6名），青森（1名），秋田（1名），宮城県（2名）から参加した農業改良普及員，家畜保健衛生所獣医師，岩手県畜産研究所，農業公社，農協関係者に対し，学内外の講師を招き，技術職員による御明神牧場における個別型哺乳ロボットシステムの導入事例を紹介しながら，同システムの紹介と普及のための研修会を実施した。

令和3年度フォレストリーダー研修

- ・対象：林業の現場技術者研修（FL研修 森林整備部門）
- ・期 日：令和3年10月29日（金）
- ・場 所：宮城県森林組合連合会大衡総合センター研修室
- ・参加人数：19名
- ・内 容：宮城県内の現場技術者に対し，森林管理目標，間伐，主伐，森林調査，目標林型に向けた施業設計に関する講義・演習（計6時間）。

特）岩手森林再生研究会

- ・対象：特定非営利活動法人（NPO法人）
- ・期 日：令和3年10月30日（土）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：13名
- ・内 容：NPO法人岩手森林再生研究会に対する森林の天然更新に関する講習会を開催した。

第86回フォレストテクニカルエクステンション（令和3年度フォレストワーカー3年目研修）

- ・対象：岩手県フォレストワーカー3年生
- ・期 日：令和3年11月1日（月）～2日（火）
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：21名
- ・内 容：作業道作設の基礎概念と作設技術について研修した。

第87回フォレストテクニカルエクステンション（令和3年度フォレストリーダー3年目研修）

- ・対象：岩手県リーダー研修受講者
- ・期 日：令和3年11月16日（火），ほか1日の2日間
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：29名
- ・内 容：作業道作設技術と路線踏査について研修した。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修会（基本技術編）

- ・対象：臨床獣医師
- ・期 日：令和3年11月18日（木），19日（金）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：10名

- ・内 容：青森（1名）、秋田（2名）、岩手（2名）、山形（1名）、宮城県（2名）、福島（2名）と東北各県からまんべんなく参加していただいた。職種は、団体職員が5名、公務員が2名、民間が3名であった。牛の生体内卵子回収、体外胚生産に関する基本的技術について、御明神牧場で飼養する雌牛や雌牛生殖器を研修材料に提供し、講演と実習により教授した。

牛の生体内卵子回収、体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用編）

- ・対 象：獣医師
- ・期 日：令和3年12月16日（木）～18日（土）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：1名
- ・内 容：一般社団法人家畜改良事業団の職員（獣医師）1名に対し、御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供し、牛の生体内卵子回収、体外胚生産に関する基本的技術について教授した。

株式会社かまいし DMC スタッフ研修

- ・対 象：株式会社かまいし DMC スタッフ
- ・期 日：令和4年1月12日（水）（講義）、1月13日（木）（野外踏査）
- ・場 所：岩手県釜石市鶴住居町
- ・参加人数：10人弱
- ・内 容：初日に「岩手県に生息するニホンジカとツキノワグマの生態について」というタイトルで講演・学習した。2日目に釜石市内の山林を踏査して野生動物の生態についてレクチャーした。

牛の体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用編）

- ・対 象：畜産技術者
- ・期 日：令和4年3月7日（月）～19日（土）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：1名
- ・内 容：金田動物病院の職員（牛胚培養担当）1名に対し、食肉処理場由来卵子を用いて、体外胚生産に関する基本的技術について教授した。

岩手ブルーベリーの会剪定講習会

- ・対 象：東北地域のブルーベリー生産者
- ・期 日：令和4年3月26日（土）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：35名
- ・内 容：滝沢農場のブルーベリー園において、岩手ブルーベリーの会役員が講師となり、参加者に対して剪定の実技を指導した。

（附属動物医学食品安全教育研究センター）

第18回 FAMS 全体研修会

- ・テ ー マ：「食品 HACCP 現状と課題について」
- ・期 日：令和3年9月24日（金）13時～17時
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟（生命系）ぼらんホールならびに Webex を用いた同時配信
- ・参加人数：58名

第8回東北農場 HACCP 研究会

（東北農場 HACCP 研究会ならびに FAMS 主催）

- ・期 日：令和4年2月19日（土）13時～15時30分
- ・場 所：オンライン（Webex）
- ・参加人数：29名

FAMS 成果発表会

- ・期 日：令和4年2月21日（月）13時～15時
- ・場 所：オンライン開催 後日オンデマンド配信
- ・参加人数：26名

6 大学共同開催フォーラム

- ・テ ー マ：「未来に向けての食への社会的ニーズ」
- ・期 日：令和4年3月3日（木）10時30分～16時30分
- ・場 所：オンライン（Zoom ウェビナー）
- ・主 催：岩手大学農学部 動物医学食品安全教育研究センター，宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター，東北大学大学院農学研究科 食と農免疫国際教育研究センター，東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター，大阪府立大学 食品安全科学研究センター，神戸大学大学院農学研究科 食の安全・安心科学センター

JRA 畜産振興事業 シンポジウム

- ・テ ー マ：「みえてきた牛伝染性リンパ腫・清浄化への道筋」
- ・期 日：令和4年3月11日（金）13時30分～16時30分
- ・場 所：オンライン（Webex）
- ・参加人数：79名

（附属動物病院）

令和3年度附属動物病院動物看護師・学生セミナー

- ・期 日：令和3年6月30日（水）17：00～18：00
- ・場 所：岩手大学農学部附属動物病院臨床実習室3
- ・テ ー マ：麻酔セミナー：不整脈を見分けよう
- ・講 師：酪農学園大学 准教授 伊丹貴晴 氏
- ・参加人数：25名

（2）一般市民・児童生徒を対象とするもの

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

第161回フィールドセミナー（総合学習時間における森林学習（47））

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・期 日：令和3年7月5日（月）
- ・場 所：国立岩手山青年の家
- ・参加人数：102名
- ・内 容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

第167回フィールドセミナー（総合的学習時間における森林学習（48） - 技術職員と学ぶ森林作業 - ）

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・期 日：令和3年7月6日（火）
- ・場 所：滝沢演習林

- ・参加人数：102名
- ・内 容：森林管理作業の体験として下草刈り作業と自然観察のためのネイチャーゲームを実施し、森林とその管理についての学習を行った。

赤沢小学校出前授業

- ・対 象：赤沢小学校の小学生
- ・期 日：令和3年9月16日（木）
- ・場 所：紫波郡紫波町赤沢小学校
- ・参加人数：30～40名
- ・内 容：赤沢小学校の生徒を対象とした出前授業を行った。講演タイトルは、「～なぜ、クマ鈴を鳴らすの？クマを人里に出さないためには・・・？～」である。

テンパーク子ども食堂（国立岩手山青少年交流の家教育事業）

- ・対 象：県内の子ども食堂を利用している小学5年生～中学生
- ・期 日：令和3年10月9日（土）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：45名
- ・内 容：リンゴ、ダイコン、ハクサイ、カリフラワーなどの収穫を体験した。

紫波町図書館「夜のとしょかん」講演

- ・対 象：紫波町住民
- ・期 日：令和3年10月23日（土）
- ・場 所：紫波郡紫波町紫波図書館
- ・参加人数：60～70名
- ・内 容：紫波町ならびに紫波町図書館と共同で「夜のとしょかん」で講演を行った。タイトルは「大型野生哺乳類の生態と保護管理」である。

(3) 公開講座等

ア 公開講座

（森林科学科）

「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」

- ・対 象：高校生
- ・期 日：令和3年10月23日（土）9:30～12:30
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：10名
- ・内 容：滝沢演習林の林道を歩きながら、森林の更新方法と樹木の成長、花の咲かせ方、花粉交配の在り様、森林の構造の関係について説明を行った。

（共同獣医学科）

「獣医さんのお仕事」

- ・対 象：高校生
- ・期 日：令和3年12月11日（土）13:30～16:45
- ・場 所：岩手大学教育学部北桐ホールおよび Web 配信
- ・参加人数：87名
- ・内 容：公務員獣医師2名ならびに本学の教員5名、計7名の講師により、研究機関や公衆衛生、家畜衛生、産業動物臨床、伴侶動物臨床、製薬業を含むトランスレーショナルリサーチで活躍

する獣医師の役割を解説した。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

第2回大学農場で体験する食と農と生物学

- ・対象：農業，植物，生物に興味のある高校生，高校生と保護者，高校教員
- ・期 日：令和3年7月29日(木)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：29名
- ・内 容：クッキングトマト，エダマメ，ブルーベリーの収穫体験，農場学生による研究紹介，教員による野菜と果樹の講義，ブルーベリージャム作りを行った。定員を超える参加希望者があった。

公開講座 第168回フィールドセミナー 親子シリーズ(31)

- ・対象：一般市民・児童
- ・期 日：令和3年11月7日(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：9名
- ・内 容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，10林班の広葉樹見本林にてウォッチングピングゴを実施した。

公開講座 第169回フィールドセミナー 親子シリーズ(32)

- ・対象：一般市民・児童
- ・期 日：令和4年3月27日(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：13名
- ・内 容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，10林班にてウスタビガヤクスサンの繭などの動植物の観察を行った。

イ アグリビジネス創出フェアへの出展

- ・期 日：令和3年11月24日(水)～11月26日(金)
- ・場 所：東京ビッグサイト青海展示場
- ・内 容：水産ブース：地域に根差したサーモン養殖研究の取り組み
(食料生産環境学科 平井俊朗教授・三陸水産研究センター)
食品ブース：ジビエの迅速検査法の開発 (共同獣医学科 山崎朗子助教)

ウ その他

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

花苗販売会

- ・対象：一般市民
- ・期 日：令和3年4月7日(水)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：51名
- ・内 容：ピオラ，パンジー苗を中心に春の花壇の花苗を販売した。

ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対象：一般市民

- ・期 日：令和3年7月15日(木), 7月19日(月), 7月22日(木), 7月26日(月), 7月30日(金), 8月5日(木)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：452名
- ・内 容：新型コロナウイルス対策のため完全予約制で実施した。期間前半の予約が多く、後半の予約は少なかったが、期間全体の販売額は例年よりも多かった。

第25回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和3年8月5日(木)
- ・場 所：学生センター横
- ・参加人数：約100名
- ・内 容：植物生命科学科3年生が履修する農場特別実習の一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、トウモロコシ、モモ、ブルーベリー、エダマメ、味噌、雑穀、花苗等であった。

第26回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和3年11月26日(金)
- ・場 所：学生センター前
- ・参加人数：約150名
- ・内 容：植物生命科学および食料生産環境学科食産業システム学コース2年生が履修する農場実習Ⅱの一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、リンゴ、サツマイモ、ダイコン、サトイモ、コメ、シクラメン、ブルーベリージャム、味噌、雑穀等であった。

リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和3年12月14日(火), 令和4年1月13日(木)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：165名
- ・内 容：家庭用向け‘ふじ’などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

2. その他の地域連携事業

(1) いわてアグリフロンティアスクール

ア 事業実施の背景、目的

(ア) 平成 24 年度までの取組み経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

(イ) 新体制での取組み(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

(ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和 3 年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和 3 年度はこれまでの事業内容を踏襲しながら、選択可能な科目の幅を広げるカリキュラム見直しや、新型コロナウイルス感染症対策による講義スケジュールの変更、遠隔講義の試行などの一部改変を行なった。

平成 28～令和 3 年度の受講生は 196 名で、履修証明書は 164 名に交付され、「アグリ管理士」は 159 名に授与された。

イ 令和 3 年度の実施状況

- (ア) 開講式 中止
- (イ) 開講期間 令和 3 年 6 月 8 日～令和 4 年 2 月 8 日
- (ウ) 修了式 令和 4 年 3 月 24 日
- (エ) 入学者数 29 名
- (オ) 修了者数 29 名（うちアグリ管理士資格授与者 29 名）

科目名			日数	時間数 (単位:h)	科目群		
					農業 経営	6次 産業化	農村地域 活動
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3		18時間 以上 選択	
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6			
	人的資源・労務管理	講義	1	6			
	経営成長・経営継承	講義	1	6			
	農業経営戦略論	講義	1	6			
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12			-
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6			
	経営改善計画演習	演習	1	6			-
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12			-
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	-	-	
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6			
「農業生産管理」 科目 1「マーケティング 科目」(6時間の科目に 限る)と振替可	土壌管理(土壌・肥料)	講義	1	6	9時間 以上 選択	9時間 以上 選択	-
	病害虫管理(防除・農薬)	講義	1	6			-
	農場の衛生管理	講義	1	6			1
	農業機械	講義・演習	0.5	3			-
「6次産業化推進」 科目	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	12時 間以上 選択		9時間 以上 選択
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			
	地域資源活用論	講義	1	6			
	食産業ビジネス論	講義	1	6			
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	12時 間以上 選択	9時間 以上 選択	
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			
	都市農村交流論	講義	1	6			
	地域活性化論	講義・演習	2	12			
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6			
	商品開発	講義	0.5	3			
	デザインとブランド	講義・演習	1	6			
	インターネットを利用した マーケティング	講義	1	6			
現地研修等 2) インターンシ ップを行う者は*科目の いずれかと振替	現場スタディ	現地研修	2	12			
	マーケティング改善演習*	演習・現地研修	2	12			
	農業技術先進地研修*	現地研修	2	12		-	
	6次産業関連現地研修*	現地研修	2	12	-		
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6			
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6	2	2	-
総授業時数					165 時間		

(2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壯学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、平成30年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など7の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和3年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農）	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授）	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科）	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育）	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農）	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農）	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。
業	木質資源総合利用研究会	関野 登（岩大農）	低炭素輩出社会並びに高炭素蓄積社会の構築には、木質資源の持続的かつ総合的な利用が重要となる。本研究会は、木質資源の利用拡大に向けて、構成員が係わる分野の技術課題や現状について情報交換を行うとともに、研究連携の基盤を醸成することを目的とする。

3．受託研究員の受入

令和3年度は、受入実績なし。

附属施設

1. 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

1-1. 地域フィールド総合科学分野（第一分野）

(1) 概要，教育研究の内容

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター第1分野（農学部内）は，本センターの設置（2002. 4. 1，平14）に伴って設置された．

第1分野は，地域フィールド総合科学分野と称し，フィールドサイエンスに関する教育研究を企画立案し，農学部と地域社会との窓口（連携調整）の役割を担っている．また，地域の活動や課題を調査研究し，総合的フィールド科学教育，地域マネジメント，農畜林複合経営などの実践的な教育研究を行う．さらには，農学部からの協力教員の参加を得て，フィールド科学に関する情報の収集・発信，地域からの支援要請，依頼研究，共同研究を推進する．

(2) 地域貢献

地域貢献事業は，職業的専門家（経営者・技術者等），一般市民・児童生徒を対象に開催されている．職業的専門家が対象の事業には，獣医師対象の研修や森林・林業技術者のスキルアップを目指した研修などがあり，延べ330人の参加を得た．一般市民・児童生徒が対象の事業では，中学生対象の森林学習やセンター産農林産物の直売などが行われ，1300余名の参加者を得た．

1-2. 持続型農業生産技術分野（第二分野，滝沢農場および御明神牧場）

(1) 概要

持続型農業生産技術分野は，滝沢農場と御明神牧場から成り立っている．

・滝沢農場（所在地：岩手県滝沢市巣子1552，面積44ha）

本農場は1902（明35）年に盛岡高等農林学校が創設されるに当たり，校舎敷地内（現上田キャンパス）に設置された附属実験農場が始まりである．その後の新制大学移行に伴い，大学の整備計画の進展と農業近代化に対応するため1966（昭41）年に農林省種畜牧場用地の一部所管換えを受け，滝沢農場が設立された．以後，1976（昭51）年3月に農産製造実験実習棟が新築されたのを始め，温室，果樹収納貯蔵庫，短期学生宿舍が新設されるなど，施設・設備の整備が行われ現在に至っている．また，2008（平20）年3月末をもって乳牛部門は廃止され，現在では作物および園芸の2部門を柱に，学生の実習教育や教員・大学院生等の研究に活用されている．

・御明神牧場（所在地：岩手郡雫石町御明神大石野，54ha）

本牧場は，1906（明39）年に設置された盛岡高等農林学校附属経済農場に始まる．戦前には文部省第一拓殖訓練所が併設され，多くの若者が満蒙開拓の夢を抱いて現牧場用地の開墾を行った．大学移行後の農学部附属経済農場を経て1984（昭59）年に農学部附属御明神牧場と改称された．ここでは山麓高冷地の立地条件を活かし，家畜の飼養管理と衛生，飼料作物管理とサイレージ調製を中心に実習教育が行われている．近年は，黒毛和種の優良系統を導入して繁殖育成に関する高度な研究が行われている．

(2) 教育研究の内容

実習教育の充実，卒業論文の指導，地域貢献を柱に，教育研究活動を展開している．学内において当分野が担当するのは，作物，園芸，畜産に関する基本技術についての体系的な実習教育である．また，盛岡大学・富士大学の实習や岩手県立盛岡みたけ支援学校高等部の農業体験実習等を行っている．加えて，当分野のフィールドでは教育学部や理工学部も含めた多様な実験・実習が行われている．地域貢献では「いわてアグリフロンティアスクール，御明神牧場一般公開」や，国立岩手山青少年交流の家による「テンパークこども食堂」などが行われている．

(3) 実習等

滝沢農場及び御明神牧場で実施する学生実習等は、次表のとおりである。

農場実習・牧場実習（学内向け）

学科・課程名等	科 目	単位数	2年(1年)		3年 前期	全学 後期	場 所
			前期	後期			
全学向け教養教育 地域課題演習 H	地域課題演習 H	2				3時間	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
植物生命科学科	農場実習	1	3時間				滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習	1	3時間				滝沢農場
植物生命科学科	農場実習	1		3時間			滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習	1		3時間			滝沢農場
植物生命科学科	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場, 2021年度は日帰り5日
食産業システム学 コース	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場, 2021年度は日帰り5日
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
動 物 科 学 科	牧場実習	1			3泊4日		御明神牧場

学部実習等への協力並びに施設の利用計画

学科・課程名等	科 目	前期	後期	摘 要
動 物 科 学 科	牧場実習	3年		一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験（動物遺伝育種学 動物行動学）		2年	一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験（動物繁殖学）	3年		一部を御明神牧場で実施
共同獣医学科	繁殖機能制御学実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	大動物臨床実習応用編	5年		一部を御明神牧場で実施
	産業動物臨床実習	5・6年		一部を御明神牧場で実施
	動物衛生学実習		3年	一部を御明神牧場で実施
東京農工大学 共同獣医学科	参加型臨床実習	5年		一部を御明神牧場で実施（2021年度は中止）
学 生 支 援 課	特別支援学生による活動プログラム	特別支援 指定学生	特別支援 指定学生	特別支援指定学生, 3~5名(全学, 大学院) . 上田下台圃場 における, 農作業体験, 栽培体験

学外実習等への協力並びに施設の利用計画

学外機関名	科目	のべ人数	日時	摘 要
附属特別支援学校	実習	50		2021年度は中止
みたけ支援学校	農場実習	80		滝沢農場で年間5回
盛岡大学	生物学	41	5月	一部滝沢農場で実施
岩手県立大学	地域政策講座ゼミ	25	6~11月	2021年度は中止
富士大学	フィールドワーク	30	8月	一部御明神牧場で実施
	フィールドワーク	30	7月	一部滝沢農場で実施
盛岡大学	地域食材資源論	37	10月	一部滝沢農場で実施

滝沢農場 開放事業等(2021年度)

月日	部門	内容等	担当職員	参加者	案内方法等
4月	温室	花苗販売	5名	25名	ハガキ50枚で案内
6月	果樹	ブルーベリー園見学	渡邊, 村上	100名	岩手ブルーベリーの会(夏期講習会)
7月	果樹	ブルーベリー園見学・摘み取り	村上	20名	岩手県サイクリング協会
7月20日(火)	果樹	ブルーベリー 摘み取り	全員	455名	学内メール, ハガキ100枚で案内, すべて予約制
~8月6日(金)	有機	エダマメ 摘み取り	全員		
9月16日(木)	実習	販売会	全員	100名	ハガキ, 学内メール・滝沢農場, 上田キャンパス(農場特別実習)
11月26日(金)	果樹	販売会	全員	120名	学内メール, 上田キャンパス(農場実習)
12月9日(木)	果樹	リンゴ販売会	5名	115名	ハガキ100枚で案内
1月13日(木)	果樹	リンゴ販売会	4名	62名	ハガキ50枚で案内

(4) 土地利用計画(単位 a)

	滝沢農場	御明神牧場	合計
水田	544		544
畑作	61		61
有機畑作	46		46
牧草地	900	10,496	11,396
果樹園	385		385
蔬菜園	10		10
花卉	1		1
温室	4		4
野草地		400	400
小計	1,951	10,896	12,847
建物敷地, 防風林	1,723	1,552	3,275
総計	3,674	12,448	16,122

(5) 家畜

家畜頭数(令和4年3月31日現在)

種類	御明神牧場
成育肉牛	91頭
育成肉牛	47頭

(6) 農畜産物売払高

令和3年度 部門別売払高	
部 門	売 払 高
稲 作	4,151 千円
畑 作	50 千円
有 機 作	311 千円
果 樹	2,870 千円
蔬 菜	197 千円
花 卉	192 千円
農産製造物	810 千円
飼 養	24,421 千円
飼 料 作	0 千円
そ の 他	18 千円
合計	33,020 千円

1-3. 循環型森林管理技術分野（第三分野，御明神演習林，滝沢演習林，実験苗畑）

(1) 概要

循環型森林管理技術分野のフィールドは、御明神演習林（岩手県岩手郡雫石町）、滝沢演習林（岩手県滝沢市）の2演習林と実験苗畑（岩手県盛岡市上田）から成っている。二つの演習林は比較的近距離にあるが、地形、地質、気象、植生など立地条件が異なった特徴を持っており、それぞれの対照的な立地特性を生かし、森林科学の基礎的研究や応用研究が行われている。また、学生の実験実習や卒論・修論研究の場として活用されているほか、動植物、地質、土壌などに関する自然研究や教育にも広く利用されている。

御明神演習林は、1905（明38）年12月農商務省から国有林の所管換えを受け、本学の前身盛岡高等農林学校附属演習林として設置された。1906（明39）年10月に設置された隣接する岩手大学農学部附属経済農場山林を併合し、現有面積は1,040.34haである。

滝沢演習林は、1913（大2）年3月農商務省から国有林の所管換えを受け設置された。1919（大8）年10月これに北接する国有林の所管換えを受け拡大したが、その後東北本線の線路変更による交換分合、四十四田ダム用地としての建設省への所管換えなどで、地積、形状に変動があり、現有面積は280.51haである。

実験苗畑は、盛岡高等農林学校創設とともに、キャンパス北辺に林学苗圃として設けられ、当初は林学実習場として広く保有していたが、その後大学の諸施設の建設に伴い、現在の下台地区に移転し、現有面積は6,080 m²である。

(2) 教育研究の内容

演習林は農学部における森林に関する教育研究の場として、非常に重要な役割を果たしている。演習林を利用して行われている最近の研究テーマには以下のものがある。

森林科学科：「森林収穫技術の高度化」、「森林路網技術」、「広葉樹二次林構成樹種の生理特性と更新」、「ヒバ林の更新メカニズム」、「スギ人工林における光環境と光合成生産」、「林業用車輛の安定性」、「林業作業の労働負担」、「林業の労働形態」、「複層林地施業」、「ケヤキ林施業」、「斜面侵食と土砂流出」、「中小径広葉樹の材質と利用」、「木材の含有成分」、「GIS・GPS・RSによる森林管理技術」、「森林バイオマス利用と造成」、「森林環境教育」、「森林に対する市民の意識」

この他にも他大学，研究機関などから，林業に関する研究のみではなく広く自然研究にも利用されている。演習林はこれらの研究の場を提供して人的・物的に補助協力するのみではなく，共同研究や独自の基礎的，応用的な調査，研究を実施しており，教育面では，学生の実験実習の場として頻繁に活用されている。

農学部における主要な実習には以下のものがある。

森林測量学実習Ⅰ，森林測量学実習Ⅱ，林道工学実習，砂防学実習，林業生産工学実習，野生動物管理学実習，総合フィールド科学実習，森林計測学実習，森林造成学実習

他学部の実習としては，人文社会科学部の野外生物学実習，教育学部の植物学特別実験が実施されている。

御明神演習林および滝沢演習林は，平成 28 年度から文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており，これまで，鹿児島大学「温帯林概論」，富士大学「フィールドワークⅠ」「フィールドワークⅡ」，岩手県立大学「専門演習入門」「環境調査実習」，日本女子大学「環境生物学実験」など幅広い学問領域で学ぶ他大学の演習に利用されている。加えて，全国の大学生を対象とした公開森林実習「森林インターンシップ」「冷温帯林と持続的森林・林業」を実施している。

また，演習林を会場として林業技術者を対象としたフォレストテクニカルエクステンションや一般市民・児童・生徒を対象に森林教育を行うフィールドセミナーも開催されている。

(3) 御明神演習林

地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
1,040.3	265.8	229.9	6.9	263.1	248.4	1,014.1	26.2

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 ^{m³}		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	276.8	116,373	2,813	119,186
天然林	727.7	92,583	70,224	162,807
無立木地，他	35.8	45	28	73
計	1,040.3	209,001	73,065	282,066

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

(4) 滝沢演習林

地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
280.5	23.6	23.3	33.9	33.9	156.0	270.6	9.9

資料：滝沢演習林第 2 次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 ^{m³}		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	112.2	61,870	2,363	64,234
天然林	157.4	36,681	14,916	51,596
無立木地，他	10.9	-	-	-
計	280.5	98,551	17,279	115,830

資料：滝沢演習林第2次森林管理計画書

(5) 林産物の販売（令和3年度）

区 分		販 売 額
素 材	御 明 神 演 習 林	14,923 千円
	滝 沢 演 習 林	13,624 千円
	(小計)	28,547 千円
その他（木工品）	御 明 神 演 習 林	0 千円
	滝 沢 演 習 林	6 千円
	(小計)	6 千円
計		28,553 千円

2. 附属動物病院

(1) 概要

家畜病院は盛岡高等農林学校創立の翌年（1903年）に設置され、既に119年の歴史を刻んでいる。戦前戦後長く使われてきた木造建物（1,485 m³）を経て、昭和46年には鉄筋コンクリート造りの本館（1,051 m³）が建造され、昭和53年に入院厩舎（100 m³）、59年に別棟（391 m³）が増築された。以来40年が経過して老朽化し、現在の獣医学教育病院の水準に合致する施設設備とはほど遠い状態が続いていた。この間、平成15年に呼称を動物病院に改め、診療体制の見直しを図ってきた。平成24年度からは本学と東京農工大学とで共同獣医学科を発足させ、双方の大学で獣医学教育を保管しながら、これまで以上に高度化させる体制となった。本学における臨床実習と診療の高度化を図るため、全学からの支援と文部科学省の補助金を使って、平成25年4月に伴侶動物診療棟（総面積1,922 m³）の新築工事が完成し、引き続き旧来の動物病院建物は産業動物診療施設に大改修された。

新築された伴侶動物病院棟は広い待合室、5つの診療室、処置室、犬猫別の入院室、陽圧手術室、各種検査室など高度獣医療を担うに相応しい施設となり、最新の医用機器が設置された。主な診療設備として、MRI診断装置、X線CT撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、超音波断層撮影装置、手術用X線透視装置、デジタル画像データ管理装置、内視鏡、腹腔鏡、硬性鏡、血圧透析装置、ホルター心電計、全自動血液生化学測定装置、電解質・血液ガス分析装置、血球自動計数装置、伴侶動物集中治療用ケージ、麻酔機および麻酔監視装置などがある。平成30年度にはこれまで1室であった外科手術室に加え、施設の改修を行い第二手術室を設置した。令和元年度には、受付業務の簡素化を図り、紙媒体に頼らない診療記録の保存のために、院内ネットワークシステムを構築し電子カルテシステムを導入した。産業動物の臨床教育と研究には、産業動物診療施設を利用するほかに、7名乗りワゴン車、検査機器と冷蔵庫を装備した5名乗りワゴン車、家畜運搬車および自家発電機を搭載して全自動血液生化学測定装置、冷却遠心機、冷凍・冷蔵庫、純水製造装置、携帯用超音波診断装置などを装備した家畜検診車が稼働している。また、治療台、无影灯、顕微鏡、超音波断層撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、麻酔監視装置、血液生化学簡易測定装置、電解質分解装置、血球自動計測装置など一通りの診療機器を装備した犬猫用移動診療車は、岩手県沿岸部の東日本大震災被災地仮設住宅で飼育されている動物の健康相談に出動している他、東北各県の獣医師会と協定を締結し、災害発生時に獣医師会に貸し出すなどして被災地域の診療に役立てるよう計画している。

本学動物病院では産業動物と伴侶動物のバランスのとれた臨床教育をめざし、症例は犬猫だけではなく牛馬も多い。近年では人材は財産との考えから動物病院予算にて雇用するスタッフの充実を図り小動物外科、画像診断学、臨床繁殖学、産業動物診療科の特任助教、更には研修医を2名雇用し診療スタッフの充実を図るとともに、動物看護師も11名まで増員し診療補助スタッフの充実も図っている。さらには産業動物診療を補助するスタッフとして農学部より技術職員を1名、派遣していただいているほか、検査室の技術職員も合計3名まで増員していただいている。この取り組みを通じて伴侶動物の患畜のみならず、牛の外来受診件数を増加させて学生実習に活用すると共に、キャンパス近隣に位置する農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、家畜改良センター岩手牧場、岩手県畜産研究所、小岩井農場技術研究センターなどとの協力で臨床実習牛を確保し、臨床教育や研究の充実を図っている。また、岩手県内の農業協同組合や農業共済組合と連携して家畜検診車を使って牛や馬の集団検診を実施している。伴侶動物診療棟の稼働を機に、平成25年から伴侶動物外来診療体制は、原則東北各県の開業獣医師からの紹介症例のみを診察する二次診療体制に移行して、地域の開業医師と連携を図っている。

(2) 診療状況

症例頭数及び収入（令和3年度 単位：頭、円）

	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
診療頭数	1,749	590	-	1,111	75	-	1	8	3,534
金額	102,203,850	23,270,620	-	6,211,475	1,420,330	-	2,000	192,190	133,300,465

学用症例頭数及びこれに要した診療費（令和3年度 単位：頭，円）

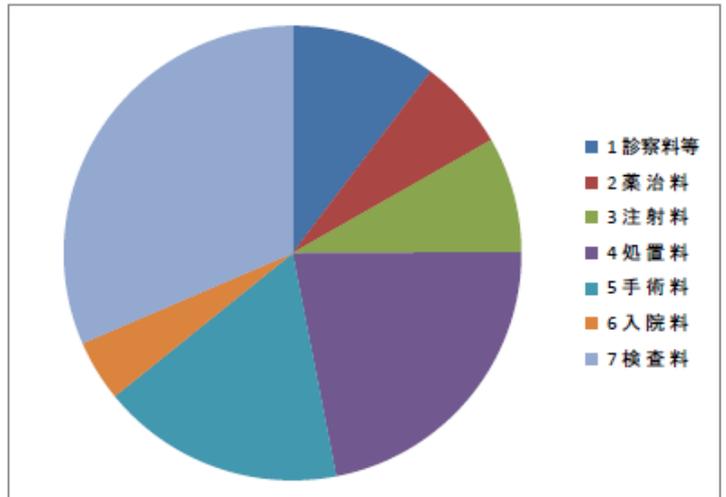
	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
学用頭数	1	2	-	192	-	-	-	-	195
金額	160,000	97,620	-	98,410	-	-	-	-	356,030

診療収入の内訳

令和3年度(R3.4.1~R4.3.31 単位:円)

診察科目	金額	割合
1 診察料等	13,732,295	10.3%
2 薬治料	8,553,450	6.4%
3 注射料	10,951,210	8.2%
4 処置料	29,335,115	22.0%
5 手術料	22,959,200	17.2%
6 入院料	5,790,770	4.3%
7 検査料	41,978,425	31.5%
総計	133,300,465	100.0%

令和3年度動物病院収入内訳



(3) 臨床教育の内容

動物病院では4年次、5年次学生に対し小動物内科学実習2単位、大動物内科学実習1単位、小動物外科学実習2単位、大動物外科学実習1単位、獣医臨床繁殖学実習1単位、獣医画像診断学実習1単位、総合参加型臨床実習I、II、V、VI合計4単位の実習を履修させている。さらに、平成24年度より開始された東京農工大学との共同獣医学科における総合参加型臨床実習V、VIとして、平成28年度より東京農工大学に在籍する5年次学生に対して合計2単位の实習を岩手大学農学部附属動物病院にて履修させている（令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止）。総合参加型臨床実習は伴侶動物と産業動物診療の総合的な臨床実習で、例年6月から12月初旬まで12週間にわたり火曜日と水曜日に5年次学生を班分けして、伴侶動物は院内にて外来診療動物を、産業動物は附属動物病院所属の獣医師に加え、近隣の獣医師を委嘱して牛の診療実習をさせている。総合診療実習の最終回には全員が担当症例をまとめた発表会を実施している。なお、岩手大学に所属する5年次学生は総合参加型臨床実習III、IVとして東京農工大学動物医療センター（東京都府中市）において合計2単位の实習を履修している（令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止）。

本年度発表会のプログラムは別表のとおりである。

令和3年度 フィールド実習症例報告会 プログラム

日時：令和3年11月17日 午前10時開始

場所：岩手大学教育学部北桐ホール

- 1.開会(司会：一條)
- 2.開会の挨拶(片山泰章動物病院副院長)
- 3.発表注意事項(発表時間5分、質疑応答3分)
- 4.発表準備(座長、演者スタンバイ)

番	名前	担当教員・獣医師	演題	
座長：小林沙織先生				
1	米倉 司	藤原玲奈先生	マンチカンの虹彩メラノーマ	10:15～10:23
2	加藤あずさ	中田浩平先生	チワワの脊髄空洞症	10:24～10:32
3	齋藤 駿	小林沙織先生	猫の腺扁平上皮癌	10:33～10:41
座長：中田浩平先生				
4	守 哲平	内田直宏先生	ミニチュアダックスの口腔内悪性黒色腫	10:42～10:50
5	吉井里花	山崎真大先生	先天性門脈体循環シャントを疑うミックス犬	10:51～10:59
6	高橋寛生	内田直宏先生	秋田県の卵巣腫瘍	11:00～11:08
休憩(10分)				
座長：森田智也先生				
7	竹花美紀	内田直宏先生・森田智也先生	イタリアングレーハウンドにおける肺腫瘍	11:18～11:26
8	澤田康平	内田直宏先生・千葉優介先生	猫の横隔膜ヘルニア	11:27～11:35
9	赤澤達也	内田直宏先生	トセラニブ投与で縮小を認めた犬の甲状腺腫瘍	11:36～11:44
座長：内田直宏先生				
10	北島ちひろ	小林沙織先生	トイ・プードルの鼻腔内異物	11:45～11:53
11	筒井咲妃	内田直宏先生	犬の下顎歯肉に生じた乏色素性悪性黒色腫	11:54～12:02
12	小野朋花	中田浩平先生・片山泰章先生	トイ・プードルの環椎軸椎亜脱臼	12:03～12:11
座長：南雲隆弘先生				
13	小野豊佳	内田直宏先生	腫瘍との鑑別に苦慮した嚢胞性腎疾患の犬	12:12～12:20
14	山田翔子	星野有希先生・小林沙織先生	パピヨンの膀胱結石	12:21～12:29
15	松本 蓮	星野有希先生	避妊手術を行い、被嚢性腹膜硬化症を疑った犬	12:30～12:38
昼食(52分)				
座長：星野有希先生				
16	桑谷 怜	星野有希先生	犬の甲状腺腫瘍	13:30～13:38
17	佐藤 至	山崎真大先生	ミニチュアシュナウザーにおける非再生性貧血	13:57～14:05
座長：高橋正弘先生				
18	村上侑亮	川向俊之先生	ホルスタイン種子牛の重複脊髄症及び心奇形の併発例	13:48～13:56
19	佐藤凌雅	木村淳先生	ホルスタイン種乳牛における伝染性リンパ腫	13:57～14:05
20	山口拓人	木南藍子先生	ホルスタイン種乳牛における産褥熱とケトージス	14:06～14:14
21	鈴木かんな	大野千明先生	黒毛和種子牛における潜在精巢	14:15～14:23
22	相澤 葵	高島恵輔先生	黒毛和種子牛の多肢症	14:24～14:32
休憩(10分)				
23	松本七海	尾形透先生	黒毛和種子牛の膈炎	14:42～14:50
24	小澤なつめ	懸田和子先生	黒毛和種子牛における三尖弁閉鎖症	14:51～14:59
25	吉田茉優	高橋恵輔先生	黒毛和種子牛の肝膿瘍を伴った膈静脈炎	15:00～15:08
26	照井周二	木村淳先生	ホルスタイン種乳牛の黄色ブドウ球菌による乳房炎およびバルク乳検査による牛群モニタリング	15:09～15:17
27	秋山桂花	懸田和子先生	黒毛和種子牛における尿管膿瘍	15:18～15:26
座長：一條俊浩先生				
28	井上聡士	田高恵先生・木村淳先生	黒毛和種子牛におけるウイルス性扁平上皮乳頭腫	15:27～15:35
29	長谷川公哉	岡田啓司先生	ホルスタイン種乳牛における第一胃切開後の心房細動	15:36～15:44
30	北村洸人	木村淳先生	ホルスタイン種乳牛における趾皮膚炎(PDD)	15:45～15:53
31	松永渡羽	高橋透先生	ホルスタイン種乳牛における卵胞嚢腫	15:54～16:02

- 5.講評(山崎真大動物病院院長)
- 6.閉会(司会：一條)

終了予定 16:30

3 . 附属植物園

(1) 概要

附属植物園は、盛岡高等農林学校創設時（明治 35 年）、敷地東南部に設置され、数年後に現在の教育学部構内北部に移転した。昭和 49 年、大学整備拡充に伴い創立当時の植物園、樹木園、校舎敷地を合わせ現在地に再移転した。面積 49,500 m²、現在 137 科 530 属 800 種以上の木本・草本植物が生育している。本植物園は、植物学を基礎とする農業生命科学や森林科学など幅広い学問分野の研究教育に資するべく、国内外の植物の蒐集に努めるとともに自生種の保護管理に力を入れている。設置以来百年を経過し、都市域では稀少貴重な巨木の杜が各所に形成されている。四季を通じて様々な野鳥が訪れ昆虫相も豊富で、都市域の生物共生系モデルとして注目され、学内活用はもとより、広く学外にも解放され、地域の人々への環境教育の場ともなっている。藩政時代の武家屋敷の庭が忍ばれ、宮沢賢治ゆかりの数々の樹木や石川啄木の妻節子生誕地など盛岡に生きた人々の歴史が随所に残っている。

植物園内北側に建つ農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）は、平成 6 年国指定の重要文化財となった。平成 14 年には開学百周年を迎え、本学ゆかりのメタセコイヤの記念植樹がおこなわれ、賢治モニュメントが設置された。翌 15 年には、植物園内の旧高等農林時代の図書館を岩手大学ミュージアム本館として使用することとなり、報知板や案内板の新設・散策路の補修など多くの整備がなされた。

(2) 主な構成

自啓の森

旧盛岡高等農林学校学生寮“自啓寮”跡地に、岩手の山野に発達する自然林を模し、階層構造を組み込み、郷土森林生態観察モデル林として、昭和 60 年に造成されたアカマツ - コナラ群落、コナラ - クリ群落、ブナ - ミズナラ群落の 3 ブロックで構成され、一隅に“自啓寮跡”の記念碑が建つ。

北水の池

岩手大学環境整備第 1 期計画（昭和 55 年度実施）によって、「北水の池」、「水生植物展示圃」、「築山」が農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）の南東側に造成された。北水の池は昭和 55 年に「破碎転圧工法」（旧農業土木学科農地造成研究会の考案）で造成され、1,350 m²、水深 0.2~1.2m で、漏水がないことで評価された。池の余水は、水生植物展示圃に流れ込み、経由して東側の土水路に流下し、「湿地帯」へと導かれる。

水生植物展示圃

「自啓の森」が郷土の樹木をモチーフとしたのに対し、本造成では、水分環境傾度を軸とする、草本植物主体の一連の植物配置が計られた、さまざまな湿地条件がもたらす多様な生物層とともに、岩礫山体によって乾性基盤の立体景観をつくりだし、自然、生態系、そして水と緑の修景について、一体的に学べる空間をめざした。展示圃の総面積は 600 m²で、培土層の深さや水深を変えて、6 つの区画が池東端の築山を囲むように並んでいる。本展示圃では、関係する学外の方々とも共同して、展示、試験を行っている。展示圃の区画配置は、0 区（深水）、1 区（中深水）、2 区（浅水）、3 区（中深水）、4 区（深水）、5 区（深水）となっている。

旧高等農林のガラス温室（森の駅ポランハウス）

農業教育資料館南のガラス温室は、大正 14 年に完成し、当時は東北一の規模を誇り、冬でもバナナ、パイナップル、ゴムなどの南洋植物が常緑葉を光らせ、学外からの参観が絶えなかった。長きにわたっての学内事業により改修・整備がなされ、「森の駅ポランハウス」として再スタートし、地域社会に向けた情報発信の場として、また教職員学生が取り組む環境教育や本学に集うものの交流の場として、よく利用されている。

宮澤賢治モニュメント

農業教育資料館南側のドイツウヒのそばに設置されている。賢治の花巻農学校時代も終わりに近い大正 15 年、学校付近の畑で撮った写真がモチーフとなっており、帽子をかぶってうつむいている様はどこかベートーベンに似ている。

旧第一学生寄宿舍前のヒノキ

賢治は、第一寄宿舍（南寮）の一室に居る頃、窓越しに見える若いヒノキを題材に「ひのきの歌」を詠んでいる。今やそのヒノキは、百年の星霜を刻む大成木となり、賢治の心を伝えている。

ポランの日時計

「ポランの広場」の一隅に設置されている。日時計と説明板は、宮澤賢治が愛用した楽器（チェロ）と譜面台の関係を模倣している。太陽による標柱の影を文字盤で読み時刻を計る。盛岡太陽時を基準として作られているため、常用時（明石）との時差として - 25 分と近似差による補正が必要である。

旧第三教員跡地に立つメタセコイヤ

属名メタセコイヤ (*Metasequoia*) は、三木 茂（盛岡高等農林学校、大正 10 年卒業）により命名され世に知られるようになった、かつての学び舎第三教員跡地の跡地に、本種大成木が見下ろすように立っている。ラクウショウと並びたつ空間は見事な景観を形成している。

旧上田新小路

植物園の中央、東西に小径が残る。この上田新小路一帯は、嘉永時代に新たに開かれた侍屋敷町である。当時、諸士の屋敷割りは、間口 13 間、奥行 25 間、300 坪が基準となっていた。ちなみに石川啄木の妻節子は明治 19 年上田新小路に生まれ幼少期をここで過ごしている。

目時のスギとヒバおよび山邊のマツ

南部藩の時代、家臣団の名門目時家の屋敷は、ヒバ（実はサワラ）やスギを生け垣にしていたようである。初代盛岡市長の目時敬之は本屋敷で生まれ、市長時代はしばしば全職員を招き会合が催された。

旧高等農林学校の通用門を入れてすぐ正面が山邊家の庭にあたる。やはり、当家の庭園は、侍屋敷が並ぶ一体で、ひと際みごとだったと見られる。マツはゴヨウマツ（別名ヒメコマツ）で老大樹の伏臥姿はみごと、当時の侍屋敷の庭が偲ばれる。

(3) 園内概況

珍しい植物

岩手県が南限分布地のもの：ヒメカユウ、アカエゾマツ

岩手県が北限分布地のもの：カヤ、モミ、ヒメクルミ、ミズメ、イヌシデ、ヤブサンザシ、ニガイチゴ、ヤマニガイチゴ、チドリノキ、オオバアサガラ

岩手県が固有産地のもの：シダレカツラ、モリオカシダレ（サクラ）

西日本が分布地のもの：ヤマコウバシ、ナツツバキ、アオギリ、モクゲンジ、アキニレなど

外国産原種：チョウセンモミ、ブンゲンストウヒ、モンクナマツ、バンクスマツ、ストロブマツ、リキダマツ、メタセコイヤ、ラクウショウ、エンピツビャクシン、ニオイヒバ、コノテガシワ、カシグルミ、シナサワクルミ、オウシュウシラカンバ、オウシュウブナ、ユリノキ、アメリカスズカケノキ、エンジュ、シンジュ、コブカエデ、トリネコバナカエデ、サトウカエデ、ベニバナトチノキ、キュウエイ、セイコウシナノキ、チョウセンゴシュユ、サンシュユ、クロフネツツジ、アメリカトネリコ、ハナキササゲなど

花

3月下旬 マンサク、ギンドロ、バッコウヤナギ、フクジュソウ、オオイヌノフグリ、ハコベなど

4月上旬 アセビ、レンギョウ、サンシュユ、ウメ、コウバイ、ヒョウガミズキ、アブラチャンなど

中旬 カツラ、シダレカツラ、コブシ、エゾムラサキツツジ、スイセンなど

下旬 エドヒガン、ソメイヨシノ、ミネザクラ、ドウダンツツジ、イタヤカエデ、チドリノキなど

5月上旬 ユキヤナギ、ボケ、ヤマブキ、ハクモクレン、シバザクラ、ヒメオドリコソウ、チューリップなど

中旬 ヤマツツジ、クロフネツツジ、モクレン、リキウバイ、シロヤマブキ、キリなど

6月上旬 ボタン、ハナショウブ、カキツバタ、ヒトツバタゴ、ハクウンボク、ミズキなど

- 中旬 シャクヤク, ショウブ, ケアサガラ, エゴノキ, ユリノキ, ミヤコワスレ, フランスギク
など
- 下旬 ハナキササゲ, イボタノキ, ナツハゼ, スイレン, サツキ, ニワフジ, ウメモドキ, シャ
スターデージー, ムラサキツユクサ, セイヨウノコギリソウなど
- 7月 ナツツバキ, アジサイ, セイヨウシナノキ, ネムノキ, ムラサキシキブ, ノリウツギ, ジ
ャノヒゲなど
- 8月 エンジュ, サルスベリ, ムクゲ, オオウバユリ, ヤブラン, ミズヒキ, オオハンゴンソウな
ど
- 9月 アキニレ, ヤマハギ, ミヤギノハギ, マルバハギ, ハナタデ, イヌタデなど
- 10月 ハナゾノツクバネウツギ, ノコンギク, ホトトギス, ミゾソバ, キクイモ, キンエノコロ,
ハマギクなど

(4) 令和3年度 植物園・ガラス温室利用状況

植物園

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月 5日	ラジオ体操	ポランラジオ体操会	40名程度	令和3年11月19日まで
4月10日	植物、小動物及び昆虫観察	岩手大学植物園観察会	10名程度	令和3年11月27日まで
4月26日	研究	応用生物化学科 学生	3名	令和4年3月31日まで
4月28日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	53名	
4月30日	散策	くるみ子ども会	20名	
5月14日	散策	うえだ保育園	25名	
5月24日	散策	くるみ子ども会	45名	
6月 8日	ザリガニ釣り	うえだ保育園	26名	
6月13日	ザリガニ釣り	ボーイスカウト盛岡第12団	10名程度	
6月23日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	53名	
6月26日	散策	EMS 学生委員会	20名	
6月29日	生活科学習	盛岡市立河北小学校	65名	
6月30日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	77名	
6月30日	笹竹の採取	盛岡視覚支援学校	2名	
7月 1日	生活科学習	盛岡市立上田小学校	54名	
7月 2日	生活科学習	盛岡市立桜城小学校	115名	
7月 3日	七夕用竹の採取	まちのあそびの園	2名	
7月 8日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	22名	
7月12日	生け花用アジサイ剪定	岩手大学国際課	4名程度	
7月16日	総合的な探求の時間における地域理解のための散策	岩手県立杜陵高等学校	38名	
7月17日	テレビ番組ロケ	株式会社テレビ岩手	19名	
7月21日	生け花の花材剪定	岩手大学華道部	4名	
10月 1日	遠足	盛岡市立緑が丘小学校	109名	
10月14日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	52名	
10月17日	不来方祭企画 ネイチャーピング	環境マネジメント学生委員会	13名+ 当日参加者	
10月19日	農学部 山内准教授 インタビュー取材	有限会社エル・ディ・エル	2名	

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
11月2日	散策	岩手県立杜陵高等学校	38名	
11月12日	柿・カリンの収穫	野草の会	5名	
11月19日	柿の収穫	Nature Circle けらけら	15名	
12月3日	リース作りのための 材料集め	野草の会	8名	
1月7日	常緑広葉樹の葉の採 取	野草の会	3名	
2月10日	テレビ撮影	NHK 盛岡放送局	4名	

ガラス温室

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月1日	植物の播種・育苗	岩手大学環境マネジメン ト学生委員会	約20名	緑のカーテン等のため 令和4年3月31日まで

この他、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休憩スペース等は閉鎖した。

4 . 附属農業教育資料館

(1) 概要

岩手大学農学部附属農業教育資料館は、明治35年3月に我が国最初の高等農林学校として設置された盛岡高等農林学校の本館で、大正元年12月に竣工した。この旧本館は、青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建て総面積約1,007㎡の欧風建物で、他に便所、用務員室と校舎をつなぐ渡り廊下が付属していた。当時一階は、校長室、事務室、会議室等として、また二階の大講堂（446.3㎡）は学内の諸儀式に使用されていたが、昭和24年、学制改革により岩手大学が設置されてからは、大学本部として一階は学長室、事務室などに利用されていた。昭和49年に大学本部が現在地に移転後、老朽化が激しくなったため、昭和52年11月に修復され、翌53年から岩手大学農学部附属農業教育資料館として活用されるようになった。農業教育資料館は、盛岡高等農林学校開校以来、今日の農学部に至る農業教育関係の資料および宮澤賢治在学中の資料を主に展示公開するとともに、二階講堂は学内の入学、卒業にかかわる諸儀式および学会、研修会、諸会議などに広く活用されてきた。その後、農業教育資料館は平成6年に再度大修復工事が行われ、装いも新たに再出発した。

この農業教育資料館（旧本館）は、明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構の一つであり、改造が少なく保存状態も良好で、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物であることにより、平成6年7月2日、門番所と旧正門（土塁の一部を含む）を含め、重要文化財に指定された。

なお、平成24年4月23日～同年10月31日までを工期として、耐震化工事が行われ、ほぼ大正元年の竣工当時の姿に復元された。この工事に合わせて、展示資料の整理とリニューアルが行われ、平成25年5月31日には岩手大学農学部創立110周年記念式典が二階講堂にて挙行された。

(2) 展示資料

盛岡高等農林学校設立の経緯から現在までの歴史的な変遷、高農時代の実験器具類、当時の教官の研究業績関連資料の一部（鈴木梅太郎博士研究報告、大獄了博士遺品、内田繁太郎博士の笹標本）、その他初代玉利喜造校長、関豊太郎教授の冷害関係研究資料や後年の関教授の手帳、教材用剥製標本、図譜類、写真、学生のノート、組織標本の顕微鏡スケッチ、事務関係書類等の歴史的資料、卒業生著書、寄贈図書、専門図書の一部等を展示している。

宮澤賢治関係資料としては、在学当時の「校友会会報」、「注文の多い料理店」の原本、賢治および同級生らの卒業論文、「岩手県稗貫郡地質及び土性調査報告書」、「アザリア」（一部）、「雨二モマケズ」、恩師関豊太郎教授宛「手紙」等の複写および賢治全集、学生時代の写真、関豊太郎教授の賢治追想の文、賢治在学時代の地質調査用具、岩石標本作製用器材、鉱物・岩石標本、賢治が高農時代に採取した岩石および盛岡周辺の探索マップ、賢治が作った顕微鏡用岩石薄片、その当時に使われた教材、賢治と小野寺伊勢之助教授に関する資料、その他賢治に師事した松田甚次郎関係の資料等を展示している。

(3) 令和3年度入館者数

単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
58	58	239	171	43	28	124	107	20	30	28	136	1042

(4) 農業資料館収蔵資料の他施設・団体への貸出実績

相手先	目的	貸出情報
(株)吉田印刷	カレンダー作成	資料館外観写真
合同会社 homesickdesign	SNS での情報発信、作成する冊子への掲載	賢治が学んだ岩石の写真

相手先	目的	貸出情報
(株)テレビ岩手	ニュース番組(宮沢賢治関係解説時)紹介	資料館外観写真
(株)ピクト	HP上に掲載するweb動画作成	資料館内、外観写真
(株)白ゆり	HPへの掲載	資料館内、外観写真
埼玉県立自然の博物館	企画展での展示	宮澤賢治が採集した岩石標本写真
越谷市科学技術体験センター	企画展での展示	宮澤賢治が採集した岩石標本写真 他
(有)ニーハイメディア・ジャパン	雑誌特集作成	資料館外観写真
(株)バイオコクーン研究所	商品のビデオ、冊子制作	資料館外観、賢治像写真
LITERS	SNSでの情報発信	資料館外観写真
(株)世界文化ブックス	書籍への掲載	資料館外観写真
秋田大学	大学博物館での紹介	宮澤賢治が採集した岩石標本写真 他
(株)エフビーアイ・コミュニケーションズ	広報誌での紹介	資料館外観写真
テレビ東京	テレビ番組での紹介	資料館外観写真
高橋志穂(フリーライター)	情報誌での紹介	資料館外観、賢治像写真
(株)レマン	JR東日本の会員誌での紹介	バタグルミの化石写真 他
長瀬町文化財保護審議会	出版本への掲載	地質旅行記の表紙写真 他

5 . 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS)

(1) 概要

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)は、「健康な家畜の生産から加工、流通を経て食卓に至るまで」いわゆるFarm to Tableで食の安全・安心に関する科学を学際的・横断的に希求し、その成果を地域と世界に発信する拠点として、平成18年4月1日に設置された。FAMSは現在4つの部門：企画調整部門、食の安全部門、動物生産部門および環境放射線衛生学部門で構成され、主に以下の活動を行っている。

動物性食品に関する分野横断的な卒後教育・学部教育の提供
地域密着型・問題解決型の動物性食品に関する研究推進
食品に関する学際的・横断的な教育研究拠点形成
放射線教育体系の構築

この中でも特に卒後教育には力を入れており、分野を問わず食に関わる人を対象にした「全体研修会」のほか、各分野の人を対象にした「部門別研修会」を企画調整部門を除く3部門で開催している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で止むを得ず部門別研修会の開催を中止とした。

近年、食の安全確保においてHACCP (Hazard Analysis and Critical Control Points) やGAP (Good Agricultural Practice) 方式が国際標準となり、食に関する事業者はその導入が求められている。FAMSでは東北地域の関係団体とともに「東北農場HACCP研究会」を設立し、農場におけるHACCP導入に対する支援活動も行っている。また、岩手県内に所在する国、自治体、あるいは民間の試験研究機関等と「岩手Farm to Tableフォーラム研究会」を設立し、分野横断的な勉強会を定期的で開催するとともに、地域連携の推進にも努めている。「岩手Farm to Tableフォーラム研究会」は、今年度は諸般の事情により開催を見送った。

(2) 活動内容

FAMS 事業推進委員会

動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) の運営方針や事業内容について、大学外の行政機関・民間企業と意見交換をする目的で設置された委員会であり、令和3年度は1回開催された。

令和3年度 FAMS 事業推進委員会

- ・期 日：令和3年7月14日(火)~7月31日(金) 【書面審議】
- ・参加人数：FAMS 事業推進委員会 22名

卒後教育活動

(ア) 全体研修会

第18回 FAMS 全体研修会

- ・テ ー マ：「食品 HACCP 現状と課題について」
- ・期 日：令和3年9月24日(金) 13時~17時
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ぼらんホールならびに Webex を用いた同時配信
- ・参加人数：58名

(イ) JRA 畜産振興事業 シンポジウム

- ・テ ー マ：「みえてきた牛伝染性リンパ腫・清浄化への道筋」
- ・期 日：令和4年3月11日(金) 13時30分~16時30分
- ・場 所：オンライン (Webex)
- ・参加人数：79名

地域連携活動

(ア) 第8回東北農場 HACCP 研究会

(東北農場 HACCP 研究会ならびに FAMS 主催)

- ・期 日：令和4年2月19日（土）13時～15時30分
 - ・場 所：オンライン（Webex）
 - ・参加人数：29名
- (ア) 家畜病態解析に関わる農業共済組合（NOSAI）とのネットワーク構築
- ・期 間：平成29年～

FAMS 共催・協賛事業

6 大学共同開催フォーラム

- ・テ ー マ：「未来に向けての食への社会的ニーズ」
- ・期 日：令和4年3月3日（木）10時30分～16時30分
- ・場 所：オンライン（Zoom ウェビナー）
- ・主 催：岩手大学農学部 動物医学食品安全教育研究センター，宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター，東北大学大学院農学研究科 食と農免疫国際教育研究センター，東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター，大阪府立大学 食品安全科学研究センター，神戸大学大学院農学研究科 食の安全・安心科学センター

研究活動

日本中央競馬会畜産振興事業

「感染子牛育成センターを利用した地域で持続可能な牛白血病清浄化モデル開発事業」

- ・期 間：平成31年4月1日～令和4年3月31日
- ・補助金総額：27,541,000円（令和3年度）
- ・研究代表：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・研究分担：岩手県，NOSAI 東北家畜臨床研究センター，農研機構 動物衛生研究部門，東北各県
NOSAI

成果発表会

- ・期 日：令和4年2月21日（月）13時～15時
- ・場 所：オンライン開催 後日オンデマンド配信
- ・主 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）
- ・参加人数：26名

会議開催実績

- | | |
|--------------|----|
| (ア) 運営委員会 | 2回 |
| (イ) 企画調整部門会議 | 5回 |

事務組織等

1. 事務組織

事務長	八重樫	敬
学部運営グループ		
主査（副事務長）	佐藤	光
主査	普入	一
主査	櫻田	美
主査	石井	敬
主査	山井	真
主事	山口	一
主事	對馬	圭
事務職員（再雇用）	齋藤	友
事務補佐員	布谷	明
事務補佐員	藤原	こ
事務補佐員	佐藤	育
事務補佐員	大下	和
事務補佐員	高杉	亜
臨時用務員	佐々木	君
寒冷フィールドセンターグループ		
主査（副事務長）	後藤	和
主任	佐々木	敬
事務職員（再雇用）	山崎	信
事務職員（再雇用）	小野寺	昭
事務補佐員	新山	美
事務補佐員	九翟	里
連合大学院グループ		
主査（副事務長）	常川	里
主査	竹原	裕
主査	山根	康
主任	井上	早
主事	高橋	智
事務補佐員	川戸	道
地域連携推進室		
特任研究員	工藤	昌
事務補佐員	安海	桂
事務補佐員	西川	由
事務補佐員	姫野	志

令和3年10月1日現在

2. 令和3年度予算関係

支出額

（単位：円）

区 分	学 部	附属寒冷フィールドサイ エンス教育研究センター	合 計
運 営 費	104,927,025	78,551,008	183,478,033
外 部 資 金	158,080,870	2,098,682	160,179,552
合 計	263,007,895	80,649,690	343,657,585

学部には連大分を含まない。

3. 職員の動向

(1) 教育職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採 用】			
3. 5. 1	准教授（植物生命科学科）	八重樫 元	富山県農林水産総合技術センター園芸研究所主幹研究員
3. 7. 1	助教（共同獣医学科）	金澤 朋美	岩手大学農学部附属動物病院特任助教
”	助教（共同獣医学科）	中田 浩平	岐阜大学応用生物科学部附属動物病院臨床助教
3.12. 1	准教授（共同獣医学科）	宮崎 珠子	日本学術振興会特別研究員
4. 2. 1	助教（寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）	高田乃倫予	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター特任助教
4. 3. 1	助教（共同獣医学科）	前原都有子	大阪医科薬科大学薬学部助教
【昇 任】			
3. 4. 1	教授（食料生産環境学科）	後藤 友明	准教授（食料生産環境学科）
4. 2. 1	教授（食料生産環境学科）	三宅 諭	准教授（食料生産環境学科）
【退 職】			
4. 3.18	退職（死亡）	後藤 友明	教授（食料生産環境学科）
4. 3.31	定年退職	上村 松生	教授（植物生命科学科）
”	定年退職	井良沢道也	教授（森林科学科）
”	定年退職	立川 史郎	教授（森林科学科）
”	定年退職	松原 和衛	教授（動物科学科）
”	定年退職	板垣 匡	教授（共同獣医学科）
”	定年退職	宇塚 雄次	教授（共同獣医学科）
”	定年退職	岡田 啓司	教授（共同獣医学科）
”	退職	殿崎 薫	助教（植物生命学科）

(2) 事務職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採 用】			
3. 4. 1	農学部主事[連合大学院]	高橋 智子	
"	農学部事務職員（再雇用）[動物病院]	布谷 明雄	
【昇 任】			
3. 4. 1	農学部主任[連合大学院]	井上 早苗	農学部主事[連合大学院]
【配 置 換】			
3. 4. 1	農学部事務長	八重樫 敬	法人運営部人事課長
"	農学部連合大学院グループ主査（副事務長）	常川 里美	学務部学務課専門教育グループ主査
"	農学部学部運営グループ主査	普入 一恵	教育学部附属学校グループ主査[附属特別支援学校]
"	農学部連合大学院グループ主査	山根 康介	学務部国際課主任
"	法人運営部人事課人事グループ主査（副課長）	内村 勝人	農学部学部運営グループ主査
"	学務部国際課国際連携グループ主査	小笠原朋美	農学部主任[連合大学院]
3. 7. 1	農学部学部運営グループ主査	石井 敬之	戦略企画・評価分析室評価分析グループ主査
"	学務部学務課専門教育グループ主査	藤根 智子	農学部学部運営グループ主査[動物病院]
"	学務部学務課主任	三浦勇次郎	農学部主任
【出向復帰】			
3. 7. 1	農学部学部運営グループ主査[動物病院]	山口 真一	国立天文台水沢 VLBI 観測所会計係長
【退 職】			
4. 3. 31	定年退職	八重樫 敬	農学部事務長
"	定年退職	後藤 和子	農学部寒冷フィールドグループ主査（副事務長）
"	退職	山崎 信也	農学部事務職員（再雇用）

(3) 技術職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採 用】 3. 4. 1	農学系技術部農学系第二技術室森林・環境グループ技術職員[御明神演習林]	成澤 朋紀	
”	農学系技術部農学系第二技術室森林・環境グループ技術職員[御明神演習林]	押切 智博	
”	農学系技術部農学系第一技術室技術職員（再雇用）	佐々木 修	
”	農学系技術部農学系第二技術室技術職員（再雇用）	高橋 健保	
【兼 務】 3. 4. 1	兼 農学部系技術部農学系第一技術室長	佐々木一也	農学系技術部農学系第二技術室長
【退 職】 4. 3.31	定年退職	阿部 岳	農学系技術部農学系第一技術室農学生命・生物グループ技術専門員

令和4年11月30日発行

発行 **岩手大学農学部**

〒020-8850 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL 019-621-6103

FAX 019-621-6107

発行責任者 岩手大学農学部長 伊藤 菊一

IWATE UNIVERSITY

*FACULTY
OF
AGRICULTURE*